

謹賀新年

は
け
ま
し

励ます会本部繪会

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



心のかけ橋に

敬意と感謝

警察廳長官 山田英樹

法人機動隊員等を励ます会

理事長 鈴

七

創意工夫

地道な努力誓う

警視總監鎌倉篤

機動隊員等を励ます会

地道な励ましを

名譽理事長 大內

二

新年おめでとうございます。昭和六十一年の始頭にあたり、会員の皆様に心からお詫び申しますとともに、常日頃から切磋琢磨を申しますとともに、この理解とご支援をいただいておりますことに對し、心から御礼申しあげます。

昨年は、国内外においてテロ・ゲリラなどが多発する厳しい警備情勢の下、「天皇陛下在位六十年記念式典」、「第十二回国主要国首脳会議」等先例のない重要な警備をはじめ、「成田田中」等の陸海空軍事力による重要防護対象の警戒警備」と並びに「伊豆大島噴火に伴う災害警備」など、多くの困難な警備活動に携わつたのであります。貴君の皆様方には、常に国民の暖かい理解と絶大なるご支援を得まして、所期の目的を達成することができました。次第に深甚なる敬意と感謝の意を表すした次第であります。

さて、本年の治安情勢も依然として厳しいものがあります。とりわけ極左暴力集団は、「成田二期工事阻止」「陸海空軍事力による構造的攻撃」「天王寺として置くべきは階級闘争」「皇訪油船阻止」「国鉄分割民営化阻止」等を重要課題に掲げ、本格的な対権力戦を

激化させてくることが予想されるところ
であります。またその手段、方法も一段と悪質、
巧妙化して過激な街頭武装闘争や飛翔物、
及び手榴弾等に見られるように、強力な爆発物等を使用したテロ型無差別ゲリラの
敗行が懸念されるのであります。

一方、右翼團体等は「北方領土問題」「
靖國問題」など、内外の諸問題に危機感を抱いて、関係者に対する直接行動が危
惧されるのであります。

このような極めて厳しい情勢下においては、
機動隊は、創意と工夫凝らした地道の作戦
努力により眞の実力を培い、いかなる事象にも的確かつ迅速に対処し、社会の平
穏と国民生活の安全を守り、社会の平穏と
の期待と会員の皆様とのご多幸とご健勝を祈念して年頭のご挨拶といたします。

新年のお慶びを申しあげます。今年は十二支でいう卯。動物にたとえて兔の年です。兎にちなんで、皆さんがよく御存知の//始は処女の如く、後には脱兎の如し」といふ言葉があります。

これは「孫子」の九地篇に出てくる軍略の一つですが、本来の意味は「戦いや始めるときの動きは、内に激しさを秘めていても、相手から見れば柔順な処女の如くに静かなものであるべきだ。そうちで相手も気をゆるめ、あるいは本性を表わす。しかし、ひとたび攻撃を開闢すると、まるで網から飛び出す兎のよろこび勢いで、相手の防ぎようもない、眼ばlikともしまらぬ行動に移る」というものであります。つまり、外から見れば、静から動へ変化するようのみえるが、本来が動であつて始めて静であることとも出来るのだ。」

理事長 大内俊司

いうことを云いたかったのでありますし、う。

日本のほぼ全ての国民は、この世界で諂るわが国の治安が、機動隊員等の皆さんによるものであることを充分に理解している筈です。日本の治安は、普通は出でない機動隊員等の卓抜した工作とファイト、つまり脱兎の如き勢いで士えられたものであると思ふ。

表に出るのは、機動隊員等の皆さん実力の水山の一角に過ぎません。むしろ表に出る機会のないことの方が、最も理想を平和の姿であると思います。それと同時に、私たちの励ましも、地味で目立たない努力であつていいのではないかと思う。今年も、静かな一年を送ること。出来るよう、皆で努力しようではありますか。

——ルズ英國皇太子同妃西般下米日」など、その重要な警備が続いたのであります。が、会員の皆様方の暖かく御理解と御支援のほど、もとより、監視官等の文字通り一丸となつて対応し、所期の目的を達成することができました。本年も治安の底流をなす内外の諸情勢は、不安定かつ流動的な様相を呈しておられます。特に、極左暴力集団等は、いわゆる成田二期工事をはじめ、国鉄「分割化・民営化」、今秋の「沖縄固体」に対し

会員の皆様方におかれましては、今後とも國民と機動隊員等を結ぶ「心のかかけ橋」として、また、機動隊員等の精神的支柱として、一層の御激励、御叱正を賜りますようお願い申し上げます。終わりに、年会のますますの御発展と会員の皆様方及び御家族の御多幸と御健康を祈念して年頭の御挨拶といたします。

昨年の十二支はトラで、来年はタツと、たゞ面倒を見られるようなことであつて、打つつけの言葉があるように、虎と竜は「竜虎」や力量の匹敵した二つの強力な存在に見え、それからいいます。その虎と竜との間に、はさまつてウサギの今年があるわけです。が、何か、アメリカとソ連の勢力の接点に置かれている日本を象徴しているように思えます。

わが国は、今から四十年前に戦争を放棄し、平和憲法が公布されたのですから、世界の緊張とは一応関わりない立場に置

員等の皆さんの責務の重大さを認識して、その責務に対する毎日の御努力を認める所と同時に、この励ましの輪をさらに拡大しようではありませんか。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昭和六十二年の年頭に当たり、機動隊隊員等に、平素から深い御理解と暖かい御激励を賜っております社団法人「機動隊隊員等を励ます会」の會長の皆様方に對し、深甚なる敬意と謝意を表するものであります。
昨年は、一連の「成田闘争」警備を行ひました。天皇陛下御在位六十一年記念式典じめ、「天皇陛下御在位六十一年記念式典

本年最大の闘争課題として取り組むと呼号しており、今後更に過激な行動にてくるものとみられます。一方、右翼は、最近の内外情勢に危機感を強めており、情勢いかんによつては直接行動も懸念されるところであります。

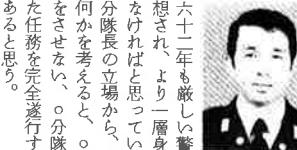
このようないかんしい情勢下において、全国の機動隊員等は、今後ともたゆみなく

機動隊員等を励ます会

世界に誇る 治安に感謝

万全の警備を期す

私は分隊長



福岡 英一

関東管区機動隊第一一大隊
一眼一足三胆四力

六十年も厳しい警備情勢が
予想され、より一層身引き締めなければと思つてゐる。そこで分隊長の立場から、その使命は何かを考えると、○隊員に怪我させない。○分隊に与えられた任務を完全遂行することである。しかし、小隊長の力の向上に日々努力することは勿論である。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。



菊池 義人

東北管区機動隊
実践活動の中心核

あるときは兄貴であり、あるときは先生であり、先輩であり、友人である——それが分隊長だ。部下の隊員の健康状態はもちろん、喜びや悩みの内容、家族の状況そして恋人の人柄に至るまで、知り尽くしていなければ仕事にならない。分隊長は部下の手本になる心・技・体を備えるために、少しの怠慢も許されないし、事があれば率先して困難や危険に向かって行かなければならない。いわば損な役割だ。しかし、この割の悪さは、同時に分隊長たちの生甲斐でもあるだろう。

大海原の風うけて輝く國の
やすらぎを栄えある使命と胸に秘め集う奥羽の健兒我黙たり管区機動隊
この隊歌を口ずさみ、精強を誇る東北管区機動隊は、融和团结根性を掲げ、訓練に泣き実戦で笑う。を合言葉に切磋琢磨していいる。

昨今は空前の大警備を終え、また管区内では、中核旅軍事工場の発展及び圧力爆薬の押収により、成田空港闘争を未然に防止する等で、活躍はめざましいものの、本年も「成田闘争」等厳しい情勢下にある。

若年のエネルギーが燃焼するのを見るのは素晴らしいと言わるよう、分隊長は、実戦活動の中核として責任感を自覚し、隊員の指導育成に努め、治安維持へ士気旺盛でなければならぬと思つ。

我が岩手小隊は、力強い音機隊員としての使命感に燃え、決意を新たにして虎のシンボルマークに恥じぬ「虎の子部隊」として精銳ぶりを發揮し、この世を花にするために更に努力することを誓い、今日も黙々と有事に備えての実戦的訓練に励んでいる。

関東管区機動隊第一一大隊
一眼一足三胆四力



湯澤 俊明

私は、半年の三月を分隊長として、関東管区機動隊に入隊した。入隊早々に歴史に残る空前の東京サミット警備に従事したが、分隊長として間もない出動であったので、戸惑いと緊張の連続であった。しかし組長及び隊員とともに、愚直にしか務めをこなすため、自分をも奮ふることを誓い、今日も黙々と有事に備えての実戦的訓練に励んでいる。

私は、半年余りが過ぎた。この間、「東京サミット」等多くの警備現場を踏んできたが、本年は、空港第一期工事を終了する主要な警備事象をはじめとする主要な警備事象を抱き切ることとなる。そのため、私は、正しく後輩受け継ぎ、正しく後輩受け継ぎ、然ど分隊の任務を全うした。

その後の数々の厳しい出動においても、「与えられた任務は愚直に遂行する」という信念で乗り越えられて来たかと思う。

私は隊員の頃、分隊長を見て、それが理想的な分隊長であったよ

うに、その分隊長像と今の自分

を比較すると、自分の未熟さに赤面する思いである。

私は隊員の頃、分隊長を見て、それが理想的な分隊長であったよ



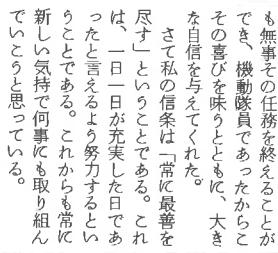
熊田 克典



石川県警察机动队長久広倉



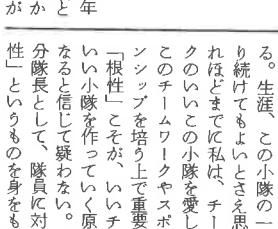
福井県警察机动队队员谷日出輝



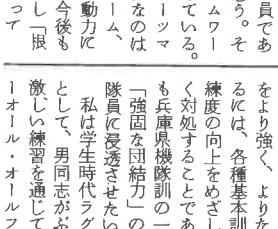
岐阜県警察机动队队员奥田富夫



三重県警察机动队队员岡山伸敏



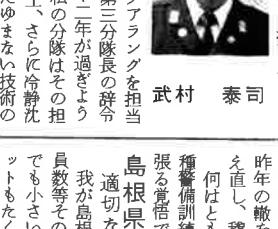
京都府警察机动队队员岩崎康行



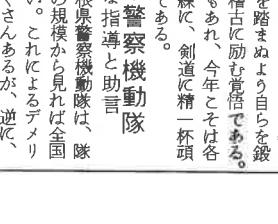
和歌山县警察机动队队员武村泰司



兵庫県警察机动队队员辻井清司



奈良県警察机动队队员若林淳



島根県警察机动队队员山根国弘

私は平素分隊長として「訓練で泣き、現場で笑え」を合言葉に、隊員と共に厳しい訓練にたえている。限界ぎりぎりまでの

福井県警察机动队

隊員間の融和

機動隊

年

度

強

い

家

族

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking slightly to his left.

別所 貞吉

機動隊は、警備実施・災害救助活動・臨時警備等を主な任務としている。これら活動は、組織による部隊行動であり、個人が思ふ行動をとれば、これが私の任務を完遂することは困難である。

機動隊は分隊から始まり、小隊・中隊へとまとまつていて、これが必要であり、血の通った部隊で、かつ士気の高いことが精神である。

岡山県警察機動隊
精強な部隊づくり

伊東 利仁

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a white shirt and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is plain and light-colored.

岐 動隊 郎 悅 福井

十年にな
している
みたい。
である。
言うこと
より理
的で一歩
進んでく
る。みん
な隊員が
隙なくつ
困るので
れより狼
が強い。
積極的に
ある。長
の責任
員に怪我
親から
ことを忘
は瞬の油
もあるが、
あるが、
持ちが通
かってく
んな部隊
命育てた
となる。
間話に
言えるよ
う。

剣道大会で会入賞して、員は一致して、日厳しい。又、我々も、とりが本土特殊任務として隊員を機動隊員そのためて聞かせる」といふ。また「いつまでも香川県自己のである。

「貴人一人ひきこもる各種の警備実務、各分隊長が常に精強で臨んでいる。」
「やらせ精神で臨むのも『言ひを』である。」
「ソ連軍は、年々、漸進的につれて毎年少しずつ進歩している。」

私が分隊長
五年目の正月
年頭には心地よい
いつも三日連続で
策であると確
を確実に當
愚直に生き
抱負である
第三分隊長
も隊員として
たが、
「強い分
員は強くない
力が強い
も強い分隊
習をしてい
国大卒業
成績を残す
て特練生で
は、よい
した。

佐賀県立長崎県立規律小隊の団結力で、私が機動連隊部下の特殊班を率いて、少尉に昇進した。この経験が、今後士官としての成長に大きな影響を与えた。

経験して、日
（潜水）の攻
正月を迎えて
一番の士
重要だと信
切である。ま
ためにも、一
す早く一
気旺盛な分
隊の訓練を
け合い、も
が、私はこの
事にあたる
遠げる事の出
省点を踏み出
の如くス
心掛けてい
る所である。
警 察 機 動
の 徹 底

のことは簡単である。この場合は、本筋の構成要素として、
1) 墓園の構造と機能、2) 墓園の運営と管理、3) 墓園の社会的意義と影響等が挙げられる。
墓園の構造と機能は、主に以下の点で構成される。
1) 墓地：墓石や墓碑を埋葬する場所。
2) 墓室：墓石や墓碑を安置する室内。
3) 墓門：墓地への出入り口。
4) 墓碑：死者の名前や生年死年などを記載する石碑。
5) 墓石：死者の名前や生年死年などを刻む石板。
墓園の運営と管理は、主に以下の点で構成される。
1) 墓園の運営組織：墓園の運営を担当する組織。
2) 墓園の運営方針：墓園の運営目標や方針。
3) 墓園の運営手順：墓園の運営手順。
4) 墓園の運営資源：墓園の運営資源。
墓園の社会的意義と影響は、主に以下の点で構成される。
1) 墓園の社会的意義：墓園の社会的意義。
2) 墓園の社会的影響：墓園の社会的影響。
3) 墓園の社会的影響：墓園の社会的影響。

底があ
とにつな
素直に
後輩
作りの
からで
迫し
となら
うしたい。
自身が
となら
緊迫し
の期間、
律が生
く。
た。自分
となら
はいわ
た。「
意は
できる
ないほ
心である」
意味は
表現で
して、
人であ
る。た
へ勉強
はでき
よろこ
ー」と
張りが
勉強
りをめ
うつて、
修業して
ん。しか
るが、
「なか
れ」と
うして、
の手
の「忍」

今月の言葉

円高不況は、国の経済事情を根底から揺さぶると同時に、長年、根柢いた産業構造も、かつてない大変革をもたらすとしている。農工商が、紙農商工など、いろいろな金融関係や株式市場などに陽が当っているのも、円高による産業構造変化の好例だ。鉄鋼や造船のような基幹産業のみならず、円高は、さまざまな産業界に強い影響を与える、企業行動・企業経営にも大きな変革の波となって押寄せている。そして当然ながら雇用関係にも厳しい、冷たい風が吹き荒れはじめているのである。

この事実は、わが国の世界的特色である「年功序列」「終身雇用」の経済成長を引張ってきた日本の経

春

予知是不可能だったか
十一月十五日午後五時二十分
三原山は昭和四十九年二月以来
十二年ぶりに噴火し、噴石は高
さ約三百メートルまで飛んだ。
同日夜の火山噴火予知連絡会長
の談話は、「今後とも噴火は続く
とみられるが、外輪山の外にま
で溶岩や噴石が飛び出すような
大規模噴火になる可能性は薄い」
という、極めて樂観的なものであ
つた。

大変革にもつながる。雇用システムの変質は、円高の直撃を受けている。大企業ほど頭著で、とくに大企業に強烈なインパクトを与えていている。入社以来、順調なステップを歩みつづけてきた企業エリートの背にも、火アーチ」の準備を始めるなど、

翌十六日にも断続的に噴火活動が続いた。有感地震も、この一日で五十六回に及んだ。しかし、この夜は、御神火見物の島民百人以上が外輪山の茶屋付近に集まり、七軒の茶屋も午後九時まで営業を延長するといふ。お祭り気分にひたついた。

十七日は火山活動が依然活発で、午後三時半には噴煙の高さが二千五百メートルにも達したが、十八日に民宿組合が「御神

火アーチ」の準備を始めた。この間、火口の北部で龜裂ができる音響動を記録した。午後四時ごろ、火口の北部で龜裂ができる音響とともに大爆発が始まった。溶岩噴出も始まって、火柱の高さは五百メートルから一七〇メートルの地盤計が最大級の火災爆動を記録した。午後四時始め、同四時十七分、龜裂から大音響とともに大爆発が始まった。溶岩噴出も始まって、火柱の高さは五百メートルから一七〇メートルに達した。これと同じ頃、旧火口などでも噴火が始まり、それらの情況は、明かりにテレビ放映され、全国民をテレビの前に釘づけにした。

午後五時十分、元町以外の全域が停電、同五時二十二分、大島町役場に合同対策本部が設置された。同五時四十分には、元ビの前に到着した。

○

午後五時五十分には、ついに元町地区に避難命令が出され、十五分には大島測候所が閉鎖され、その一分後、大島空港も閉鎖された。この間、泉津、岡田、元町地区に避難命令が出され、避難船として東海汽船の「かとれあれ丸」「シーカーク」それに自衛艦「あつみ」が到着した。午後十時五十分には、ついに全島民に對して島外への避難命令が出来、翌二十一日午前〇時二十分、最後の大型救助船、

東海汽船の「さるびあ丸」に元町地区的住民が乗船し、避難作戦は終了した。この指揮に当たった警察の適切な誘導と判断は、住民の冷静な行動を呼び、予期せざる災害への整然たる対応ぶりが、テレビや報道機関を通じて全国民に強く印象づけられた。

機動隊の活躍と今後の問題

この元日、全島民の帰島も一段落した伊豆大島では、三原山外輪山の展望台で、島民や観光客約七十人が初日を満喫した。正月の観光客や帰省客は、例年の七割程度ではあるが、それでも約一万五千人が島を訪れた。しかし、大島測候所に新設された元町基地では、所員たちが正月休み返上で観測を続けていた。一月平穡をとり戻したかに見える三原山が、いつまたあれば、東海大地震が起つた場合のようだ。あるいはそれ以上の規模で爆発しないという保証はない。そしてまた、今回は極めて優れた対応を示したとはいえる。「予知出来ぬ災害対策」という、現実に表われた新しい課題が、機動隊員たちの肩に、もうひとつの加えられたといえよう。例えば、東海大地震が起つた場合のようだ。

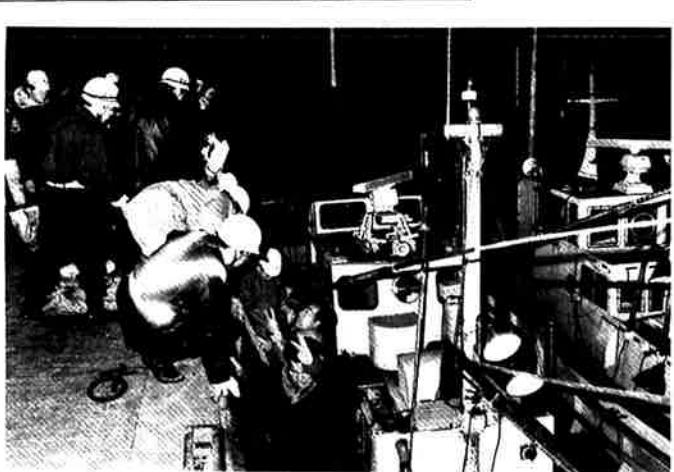


待つ

は、渦中を生きる人間には結局何も

わからぬといふことである。意図は自分の会社に対する考え方や姿勢、行動をもう一度、考え直さなくてはならない。この人たちは、まつたく無縁であるかのように、次々と流れゆく社会現象の変化に身軽に順応できる、いわゆる新人類と呼ばれる若者たちがある。これらの

大島は、引き続き一触即発の危険にさらされていたが、その現地には、つぎつぎ機動隊員が派遣された。整然たる避難の誘導に始まり、留守宅の電気、ガスをいちいち点検して、火災等の予防をあがめながら、避難の島民を落着かせるために、ベットの世話をしたりビデオで、その他の世話をしたりなど、



避難警備に當る機動隊

機動隊大島に出動 無人の町の保護に万全

怒り狂う噴煙を浴びて



発行所

社团法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会員の中には購読料を含む)

「へは『觀光資源』である三原山へは『噴火を、のんびりと、むしろ喜びをもって迎えていた。十九日に至り、火口に一杯になつた溶岩が、昭和二十年以来活動は急速に衰えた。しかし、休止したとは言えず、今後再爆発と小規模爆発を繰り返すとみられ、観測体制を一層強化したい」——しかし、一百九年ぶりに乗り越えて民家に影響を及ぼす望台が崩れ落ちた。しかし、火口茶屋が燃えて、展望台が崩れ落ちた。しかし、火口茶屋が燃えて、

のの大爆発は、この記者会見の翌日のことであった。

翌二十日の夕刻、予知連長会の記者会見で、つぎの趣旨が述べられた。「今日に入つて火山活動は急速に衰えた。しかし、休止したとは言えず、今後再爆発の可能性はない、との見解をした。

翌二十一日未明、火山活動は再び活発化し、断続的に爆発を繰り返した。火口の北約八百メートルの地盤計が最大級の火災爆動を記録した。午後四時ごろ、火口の北部で龜裂ができる音響動を記録した。これと同時に、大爆発が始まつた。溶岩噴出も始まって、火柱の高さは五百メートルから一七〇メートルに達した。これと同時に、旧火口などでも噴火が始まり、それらの情況は、明かりにテレビ放映され、全国民をテレビの前に釘づけにした。

午後五時十分、元町以外の全域が停電、同五時二十二分、大島町役場に合同対策本部が設置された。同五時四十分には、元ビの前に到着した。

午後五時五十分には、ついに元町地区に避難命令が出され、十五分には大島測候所が閉鎖され、その一分後、大島空港も閉鎖された。この間、泉津、岡田、元町地区に避難命令が出され、避難船として東海汽船の「かとれあれ丸」「シーカーク」それに自衛艦「あつみ」が到着した。午後十時五十分には、ついに全島民に對して島外への避難命令が出来、翌二十一日午前〇時二十分、最後の大型救助船、

警視廳機動

あふぐるの味

平和で豊かな時代が続いて、外食産業の利用者が増え大盛している。つまり、家庭の手作り料理離れしているわである。そうでなくとも、機動隊員を含めた寮生活者や身赴任者は家庭料理に縁遠いが、しかし男たちにとってえ難いものは、お袋の味である。正月休みの帰省で、久しぶりに故郷の味を満喫した方も少なくないだろう。

寮の屋上で焼いていたら、附近の家のから苦情が入った経験があります。私は、小さい頃から口にしているので何とも感じませんが、今でも何がそんなに臭うのかよくわかりません。

現在は、あるときの味を「口にすることはなくなってしまった」と言いましたが、十八年の歴史のおふろの味、あるさとで覚えた味、いもので、ぜいたくな味です。こんな風に文字にしてみると、自分のふるさとは、いい所であることをしみじみと感じます。

食べるのがとてもおいしいのです。時々おふくろの作ってやってた「ナガラメ」の味を懐かしく思い出します。

いて、甘さがあります。
最後に忘れてはならないのが
ジンギスカンです。こちらに来て
からには回しか□にしていま
せんが、特有の鍋を使うと、ジ
ュー、ジーーと音を立てて肉が
焼けていい味になります。
そして先程あげた味の外に、
頭に浮かんでくるのが、おふく
ろの料理の「芋の煮つるがし」
です。これたてのジャガイモを、
使い、それに玉葱やニンジン、
肉等でおふくろならではの味付
けされた「煮つるがし」は、
なんともいえない味です。

したときなど、必ずといっていい
くらい、母に頼んで作ってもら
う懐かしい田舎料理がありま
す。この料理は、もちろん産物で
あるこんにゃくをみそでいたみ
る、こんにゃくのみをいためや
といふものです。どの農家も一
月終りごろから、家族総動員で
こんなにやくいもを掘り出します。
掘り出されたこんにゃくは、ま
ず「生玉」と呼ばれ、私はた
くさんを育んでしまいましたが、
當時は薄切りにして竹串にさし
て天日で干します。干し上が
たものを碎くと「荒粉」、そ

だけは昔と少しも変わらぬせ。
お袋は戦争中に生まれ、
に苦労をして育つてきたため
「物を粗末にしてはいけない」
「出されたものは好き嫌いを
してはいけない」が口癖です。
はいまだに帰省のたびに、こ
を言われます。この口癖を聞
すことによつて、家に帰ったと
う実感がこみあげてきません。
次に味わうのがお袋の作
理です。毎日帰つた日の夕食
必ずお雑煮が出来ます。普普通
煮は正月に作るものですが、
の大好物であるために、四季

「ますの寿し」、「黒作り」、「かまぼこ」などがあげられます。中でも黒作りは、人によつて好き嫌いがあるようですが、これは簡単に言えばイカの塩壺のようなもので、黒作りはその名のとおり、イカの墨によつて黒くなっているので、食べるところまで黒くなるほどですが、酒の肴に合うと言われます。また、電車の駅では、駅のホームの売店で売られている「ますの寿し」があります。ますの寿しは、寿し御飯の上にそのまま薄く切ったものをのせ、それをよく混ぜてから、醤油をたらす形で、とても美味しいです。

多少は面倒くさいようだが、みそ汁としては、せい次を食べ物だと思います。故郷は九州といつても、本土ではなく離島の種子島です。島ですから、イセエビ、ウニ、キビナゴなどいろいろの海産物が豊富にあります。私はそれを母に料理してもらつて食べるがとても好きで楽しみでもありました。その中でも「ナガラメ」といふて、アワビにそっくりで少し小さなものですが、その「ナガラメ」を母獨得の味噌焼きやしみ、毎から、朱味貴賀にして包んで焼き、それにバターをつけて食べれる方法です。

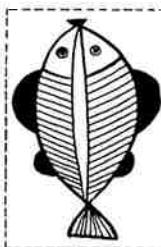
次は、毛ガニを醤油と酢を混ぜて食べて、最後に甲羅を割って中に詰まつてあるみそを指でくつて食べるやり方です。それから夏に飲むビールに負けないくらいおいしいのが牛乳です。私の家の近くで、酪農をやってる所がありますので、いつも牛乳を鍋一杯にも練りたての牛乳を鍋一杯にもからつて飲んでいました。店舗から販売している牛乳とは、一味も二味も違へ、少し黄色色がつかって

いることなどから伝わってきた
ことです。
こんなやくと聞くと、土地の
やせた所に出来て栄養もなく消
化も悪い、とあまり評判が良く
なかったのですが、実は、こん
にやくの持つ「マンナン」は、
消化されずに体内をめぐり、大
腸では老廃物を吸収して排出す
る働きがあるそうです。このこ
とが肥満防止、健康に結びつい
て、最近は脚光を浴びています。
私は、上京して約5年が過ぎ
ますが、なかなか東京では食べ
られず、次から冬でかけて昂貴
しかし、お袋が作る斗笠の味

してくれるようになにかとこまをします。
それからも挫折しないでなる
たびに、励ましてくれる私の「わ
袋と「お袋の味」に対し心から感謝
しています。(中隊員)

東京から南へ百八十キロメートルの海上に浮かぶ、伊豆・七島の一つに三宅島があります。三年前、噴火災害により、多くの家が溶岩の下に埋もれてしまつた阿古地区、それが私の生まれ育つたふるさとです。遠く離れて、今ふるさとの「味」とは、どのように向けてみました。

三宅島で十八年間育つた私にとって、東京での食生活は、驚くことが数多くありました。長い間、おふくろが作つたみそ汁などを食していれば、少い違つた味を口にすると、まずいと感じるよう、何か別のものを食べているより、最も気がするのです。私が最も驚いたのは、物の値段、価値観といふことです。小さい頃から海で育つているので、素もくりをして魚貝類をとつたり、漁師をやっている伯父兄



寮の屋上で焼いていたら、付近の家から苦情が入った経験があります。私は、小さい頃から口にしているので何とも感じませんが、今でも何がそんなに臭うのかよくわかりません。

現在は、あるときの味を「口にすることは少なくなりてしましましたが、十八年もの歴史のおふくろの味、あることで覚えた味は、一生忘れることができないもので、ぜひ沢山味です。こんな風に文字にしてみると、自分がふるさとは、いい所であることをしみじみと感じます。

(中隊員)

ナガラメの味噌焼

二機 山下唯明

「おふくろさんの味とは何ですか」と聞かれてビンとこなさい人が多いのではないかと感じました。

「故郷は遠くに在りて思うものの」というように、おふくろの味も遠きに在りて思うのかも知れません。私は学生の頃、母が毎朝作ってくれた味噌汁をほとんど食べませんでした。今、思えば、あの味噌汁を毎朝なぜ食べなかつたのかと後悔してしまいます。ほのぼののところでは、とても温かい味でした。今は、食べたいと思つても、夏季休暇で帰省した年に一週間くらいしまして、でも何がそんなに臭うのか食べられません。とても残念ですが仕方ありません。そこで、私は帰省した際に、一年分のおべんとうを購入しておきました。それは、おふくろの味を懐かしく思い出します。

おふくろの味は食べ物ばかりではなく、文字にしてみると、自分のふるさとは、いい所であることをしみじみと感じます。

(中隊員)

煮つころがし

三機 田代英一

北海道の道南、人口一万五千人といふ田舎から出てきて、早いもので今や月日が流れ、私も都会へ人らしく顔にならざりました。そして日夜、首都東京の治安を担う機動隊の一員として、仕事を訓練と共に汗水を流していく毎日です。

皆さん北海道というと、まず一番最初に何を連想されるでしょう。豊かな大自然、どこまでも真っ直ぐな道路、神秘的な湖など、一言で語り尽くせないくらい美しい所ばかりです。そんな大自然の中で食べるものは格別です。

おいしいのは、自然の中

いて、甘さがあります。最後に忘れてはならないのがジンギスカンです。こちらに来てから数回しか口にしていませんが、特有の鍋を使うと、ジュー、ジーーと音を立てて肉が焼けていい味になります。そして先程あげた味の外に、頭に浮かんくるのが、おふくろの料理の「芋の煮つころがし」です。それには玉葱やニンジン、肉等でおふくろならではの味付けされた「煮つころがし」は、なんともいえない味です。年に一度田舎に帰り、この田舎に帰つるがし」を食べないと、それに東京に出て来るの十何年も食べて来た「おふくろの味」は、そう簡単に忘れられるものではありません。

北海道の宣伝みたいになりましたが、皆さんも機会があれば北海道の大自然の中で、とれたての牛乳、野菜等「北海道の料理」を食べてみてはどうでしょうか。一生の思い出として心残ると思います。(中島彌)

したときなど、必ずといっていいから、母に頼んで作ってもららる懐かしい田舎料理があります。この料理は、もちろん産物でありますから、あるこんなやくをみていたたまる、こんなやくのみをいためました。月終りごろから、家の農業員がとにかくもお掘り出ししますが、こんでやくもお掘り出しますが、當時は薄切りにして竹串にさして天日で干します。干しが「生玉」と呼ばれ、今日では機械化が進んでしまいましたが、掘り出されたこんなやくもは「生玉」と呼ばれ、「荒粉」、それを鍋で練り固めることでやくになります。ただ、練り固める作業は、力はいらず熱し熱して大変です。しかし、こんなやくの寿命はよく練つてあるからどうかがポイントなのです。こうしてできたこんなやくは市販されているもののように丸めて色、艶、形は良くあります。昔ながらの味は格別で、こんなやくを一口大にちぎり、厚手の油をじゅうぶん含ませ、それを加え、みそが焦がれていくためる。これに砂糖、みりん、醤油等を入れ、味を全体にいきわたらせ、弱火で煮汁がなくなったら、お湯をじゅうぶん含ませ、おろしきわにしようが汁を加えてできあがります。この料理が各家庭の食卓に並ぶ頃は、どの農家も刈り入れが終り、秋祭りが始まっています。（操車係員 鈴木淳一）

だけは昔と少しも変わらぬままである。お袋は戦争中に生まれた苦労をして育つてきただめに物を粗末にしてはいけない。「出されたものは好き嫌いをさせてはいけない」が口癖です。は「まだに帰省のひだり」と言われます。この口癖をことによつて、家に帰ったときの実感がこみあげてきます。次に味わうのがお袋の作る料理です。家に帰った日の夕食は必ずお雑煮が出来ます。普通煮は正月に作るものですが、大好物であるために、四季問わず帰省するとお雑煮を出します。少し甘めの醤油味で、なんじん、かいたれ大根などの野菜類、この中にとろける大きな餅が入っています。この袋の味は格別です。

「ますの寿し」、「黒作り」、「かまぼこ」などがあるのですが、これらは簡単に言え、イカの塩焼きのようなものです。黒作りはその名のとおり、イカの墨によつて黒くなつたもので、食べると歯まで黒くなるほどですが、酒の肴に合うと言われます。

また、電車での旅では、駅のホームの売店で売られている「ますの寿し」があります。ますの寿しは、寿し御飯の上にますを薄く切つたものをのせ、それを笹の葉で包みこみ、丸い木箱に入れ、一晩もじりを乗せて押しづしてある押し寿しのやうなものです。笹の葉の緑、また色鮮やかなマスのピンク、この色あいによって味を二層引き立たせるものと思います。

代表的な水産加工品としては、日本海側能登平島と親不知にかかる萬年島。春には、北アルブスの雪と日本海の海水、温差によりできる蜃気楼、夏の近づきを思ひさせるホタルイカ、富山湾では、三月から六月にかけてホタルイカがとれます。このイカは、大人の親指より少し大きいぐらいのイカで、夜は海面下で光を発します。ホタルイカは案外簡単であります。これを半過ぎから朝方にかけており、砂をはかせてからサルサップで、イカのほんのりとしたにがみ、これで日本酒を一杯。これも里作り同じ味です。

すこし、お袋が作る斗笠の末
さを感じています。
しかし、お袋が作る斗笠の末
住んでいます。山あり川ありの
厚木ですが、ここ五、六年の間
の发展はめざましく、新興住宅
が立ち並び、昔の面影が少しづつ
消えて行くことに若干の寂しさ
を感じています。

です。現在も両親と弟が厚木に
住んでいます。山あり川ありの
厚木ですが、ここ五、六年の間
の发展はめざましく、新興住宅
が立ち並び、昔の面影が少しづつ
消えて行くことに若干の寂しさ
を感じています。

感謝しています。(中隊員)

かぶら寿し

六機 鈴木俊明

私の故郷である富山県は、配
置家庭営業つまり越中富山の薬
売りで全国的に知られています
しかし、富山の知識そのものとし
ては、あまり知られていないので、
が本当のところだと思いません。

富山の代表的なお土産物です
それからも挫折しそうになります
たびに、励ましてくれる私のわ
袋と「お袋の味」に対し心から
感謝しています。

北海道は今

滋岡長平

国土の五分の一を占めるゆとりある広大な大地。梅雨がなく湿潤の低い快適な夏。開拓の始めから広く海外に知識を求めた開放的な風土。東アジアの北端北方面の南端といふ太平洋の拠点に位置しているといふ地政学的な位置等々。

しかし、北海道のこのような資質は、今日残念ながら充分には活かしきっていない。北海道は、北洋における漁業規制・石炭問題の深刻化・鉄鋼・造船等基礎産業の沈滞など困難な情勢の下で、経済的にこそ数年低迷の域から脱し得ない、これが実態である。更に今後鉄の民営化による雇用情勢変化の影響を考え併せば、事態は深刻化の度合を増すものと思われる。

そのため全道をあげて停滞ムードが弱い、(2)技術レベルが低く、(3)流通コストが掛かる、の三点を挙げることが多く、又、「迷い」「寒い」という旧来のマイナス・イメージを払拭できない。



古文書に学ぶ

松井通

我が国は世界の中でも古い文書が保存されて居る数少ない国

一つである。均して東アジアの漢字文化の國であり乍ら、中国や韓国と比較しても古代中世の正倉院、東大寺文書を初めとして多く残つて居るのは、戦乱や暴力交替に依つても徹底した文化的破壊が行わなかつた國情に依るものと思われる。

然も鎌倉時代に行はれた徳川期は太平無事のお蔭で近世の大公私物が残されて居る。幕藩制度が国民生活に功罪半ばず影響を与えた事は事実であるが、儒教に基づく教学を徹底して庶民の識字率を高めたことは評価出来る。その事と記録好きな国民性と相俟つて、若し大都市の度重なる火災と震災や、この度の戦災さえなければ、近世の古文書はもつと廣大なものになつたものと思われる。

然し乍ら此の莫大な公私記録は明治新政府の循々たる欧化政策の廃止によっては富国強兵政策のお蔭で遭棄され、忘却の彼方に捨ておかれて来た。

同時に、新しい活字文化が教育の場に取込まれ、貴重なる民族の史料は僅かな専門家一歴史家などへと除いて徐々に一般の知識人すら理解が困難な状態に導かれて行つたのである。

それが明治二〇年を経過したが、明治の二十年代生れ、即ち我々の父母の世代は草書と変体仮名を、日常生活の読み書きに実用して来た。然しこそ大正生れの者は、まるで異人種の様

居るが、生徒の半は中年の婦人達と高年の男達によつて見られて居る。一人一人に何つて見た訳ではないが単なる成講座の様である。

我が国は世界の中で古い文書が保存されて居る数少ない国である。均して東アジアの漢字文化の國であり乍ら、中国や韓国と比較しても古代中世の正倉院、東大寺文書を初めとして多く残つて居るのは、戦乱や暴力交替に依つても徹底した文化的破壊が行わなかつた國情に依るものと思われる。

その國の西世の古い文書や記録ははどうであろうか。

普通の教育を受けた人々には、

凡て教師された事実は余り

知られて居ない。

昭和世代、特に戦後生れ、

ワーブロ世代に至つては論外で

ある。一例として、大正世代の

高名な作家が數年前暮末に題

に理解力を失つてやつたのであ

る。昭和世代、特に戦後生れ、

ワーブロ世代にては論外で

ある。一度として、大正世代の

高名な作家が數年前暮末に題

に理解力を失つてやつたのであ

る。昭和世代、特に戦後生れ、

ワーブロ世代にては論外で

今月の言葉

判らないとかといふ言葉が使われるが、この心氣と「言う事」は、「言葉によるものではないかと思われる」。例えば友人との長い付き合いの間にも、ある時は友人がこんな事を言ったとか、またある時は、笑ったとか、怒ったとか、沢山の事実と経緯があり、それ等の全てから友人である相手のイメージが記憶として、自分の頭の中に残っているからである。人間と人間では、お互に考えると言ふ頭を持ち合わせてゐるが、相手が人間でない場合でも、同じ事が言えるのではないだろうか。ある有

ら、いとも無造作に作品を彫影の妙にて行くのを見ていた人が、どうしてそんなに簡単に傑作が出来るのかと聞くと、彫刻家は、この傑作がこの大理石の中に埋つてあるので、自分

心が判ると言うのは、気が頭にあつてゐるイメージによるからであると言う。人間と人間の場合には、相手の言葉によつてイメージを作る事が主にならうが、相手が石や木ならば観察することによって、そのイメージが作られるものである。観察するといふことは、人間と同じように、語らせていう事につながるのだと言う。どう普通の人間が、彫刻家や芸術

家での心身の流れに沿わると言わざるでも、それはうり心地のいい事である。しかし、企画は藝術であるといふではないが、大事な事である。要は石や木で語らせると言う事は、石や木と話をすることで、気心を知るには相手に話しかけて相手を知る。

し、努力することが相手を知る上で、自分を相手に知らしめる上でも、また人間形成の上からも一番大事な事がある、ある事をするにも、自分が置かれている立場や環境によって、自分の持つテーマと話をすることが出来るようになつて、はじめでテーマと一緒になれたと言うことになるのではないだろうか。

は今回が初
ついては中
「革命軍」
昨年十月の
アシト摘發
人の逮捕を認
ることを認

が拡大の風潮
アロ行為は世界的な
ており、各国ともに
手を焼いている。昨
リビア・シリアなど
国と見なすなど国家
クローズアップされ
めであり、これに
はその後犯行を声明
右手真田の爆撃製造
と同軍のメンバー七
対する「報復」であ
めた。

この成功のためには、国民の理解と協力が前提になるが、善良な市民はもちろん法秩序と治安の維持には諸手をあげて大賛成である。経済的な繁栄を誇り、民主的政治体制の安定を享受していくのも、国民の共感を全く得ない主義主張のもので、無法な行動が許されるわけがない。

さらに国民党と警察を結ぶかけ橋となつていてるのが機動隊員等を励ます会である。世情驟然となつてゐる現在、機動隊員等の出番はさらに増えてくる。伴う当励ます会のはげましもそれだ

東北と名古屋支部総会

大きく広がる励ましの輪

機動隊の責務重大

三原市社会の東邦支音組会と名古屋支音組会が、それぞれ機動隊員等を招いて盛大に開かれた。極めて厳しい情勢下にあって、我が國が治安国家化の威信を保つていいけるかどうかは、機動隊員等の双肩にかかるつている。任務の重みを加えつつある機動隊の労を感謝するとともに、当会のはげましにも一段と力が入つてきた。

國民と機動隊員等を結ぶ、「かげ橋」となつてゐるの機動隊員等を励ます会である。東京支部と八つの支部を擁するが、一部で東北支那総會(三澤昭郎・支部長)が開催され、隊員の士気を大いに高らしめた。

会はいすれも式次第どおりに催側の励ます会から力強い励ましの言葉來賓代表からは励ましに感謝すると同時に治安維持に努力する決意が述べられた。

て大きくなり、万歳三唱で閉幕したが、とにかく若者たちの無軌道・無気力ぶりが批判される。堅実そのものの若い機動隊員たちの姿は、参会者の口を揃えて称賛するところであった。

とくに昨年冬のドリラが横行し、過激派による数々の暴行が引き続き想されるだけに、賑やかな交歓会のうちにも、平和の重大さと隊員たちの任務の厳しさが再認識されるものだ。

ここで昨年の治安情勢を回顧し、あらためて励ましの声を大

きく拡大していきたい。

クリークの上流に位置する、高橋町を出てすぐのところに、新左衛門の居間である。そこには、火炎瓶攻撃などのエスカレートした暴行事件が、毎年二件増えて、五十四年に至るまで、年以降の最高である。成田、天皇御在位六十周年、東京サミットが改めた。

派の爆弾アジトの摘発も相次ぎ、岩手県盛岡のアシトから、は塙庄吉操作での新型爆弾が鉛玉を詰め、されるなど武器の高度化が進んだ。

うに見える。とくに今年は、左翼が二月への天皇一期工事を最後の沖縄固体への天皇一期工事を最後の闘争テーマにしており、右翼は北方領土・靖国神社・教育問題で積極的な反対闘争を取りむことが警戒されるが、一月には右翼による住友系企業への攻撃が発生した。

バールで殴りかかこたりして、機動隊員一人が胸を撲殺されてしまふ。機動隊員一人が胸を撲殺されたが、一人成田空港を巡る機動隊員が怪我を負つた。成田空港を巡回する機動隊員が怪我を負つたのは、五十四年十二月に成田市で警備中の機動隊に火炎瓶が投げられ八人が負傷して以来のことだが、今回はゲリラグループが消火器を改造した火炎放射器を使つたことが確認されてゐる。

また一月十九日には、東京都江東区の駐車場にとめてあつたワゴン車から計三発の迫撃弾が約七十メートル離れた警視庁深川署に向けて発射された。警視

行為で、力で絶滅する以外の対応はあり得ないと力説している。これはさておいても、テロ戦争を生む土壤は世界の各地に広がっている。残念ながら、日本も例外ではありません。

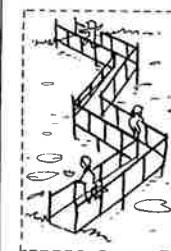
発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し、会費の中には購読料を含む)



①東北支部総会②多吉屋支部総会

◎ 著者注文部稿本

(3) 昭和6年2月25日



城跡の前に立つと、かつての兵利の無念がひしひしと胸にせまつてくる。かつて城内では毎年の元旦に家老が殿様の前に出て「幕府御追討はいかが」、殿様が「まだ早かる。時機が至らぬ」といつた問答が、必ずなされたという話が、今尚、この町では伝えられている。

萩の歴史をくわしく知りたい方には、萩市郷土博物館をお勧めする。館内には萩の歴史、産業、民俗が、要領よく展示されている。

萩を訪れて忘れてはならない所が「橋東」である。この地は、萩の城下町地図にも載つてゐる程深い山里であるが、この地こそ日本の夜明けを求める、幕末の長州藩を激動の坩埚へ落とした長い大河の若者たちを輩出したところである。その情熱の震源は、吉田松陰であり、松下村塾たつことは今まである。この地は松陰ゆかりの地であり、それにふさわしく松陰を祀る松陰神社がある。またこの一画には歴史館・松下村塾等がある。この塾では高杉晋作はじめ、久坂玄瑞、前原誠、木戸孝允、井上馨、山県有朋ら幕末維新に光彩を放つた人材を養成した。

特に山県有朋は、陸軍をバッタに、政界の元老として君臨すのちの桂太郎、田中義一、岸信介、佐藤栄作に連なる長州閥の基を作つた人である。この他に、山口県からは、官兵衛や野坂参三といった人物も出ており、右から左まで大物が輩出している。長い歴史のあるこの町には、朴素な物がよく似合う。この町で長く受け継がれるものに「萩焼」がある。萩焼といえ茶の世界では、「一樂・萩・津津浦」を受け継ぐ風格、あたたかみの文化である。高麗茶碗の伝統

はまげ

秋の歴史をくわしく知りたい方には、萩市郷土博物館をお勧めする。館内には萩の歴史、産業、民俗が、要領よく展示され

ている。

萩を訪れて忘れてはならない所が「橋東」である。この地は、

萩の城下町地図にも載つてゐる程深い山里であるが、この

地こそ日本の夜明けを求める、幕

末の長州藩を激動の坩埚へ落と

した長い大河の若者たちを

輩出したところである。その情

熱の震源は、吉田松陰であり、

松下村塾たつことは今まで

ある。この地は松陰ゆかりの

地であり、それにふさわしく松

陰を祀る松陰神社がある。また

この一画には歴史館・松下村塾

等がある。この塾では高杉晋

作はじめ、久坂玄瑞、前原

誠、木戸孝允、井上馨、山県有

朋ら幕末維新に光彩を放つた人

材を養成した。

特に山県有朋は、陸軍をバッ

タに、政界の元老として君臨す

のちの桂太郎、田中義一、岸信

介、佐藤栄作に連なる長州閥の

基を作つた人である。この他に、

山口県からは、官兵衛や野坂

参三といった人物も出ており、

右から左まで大物が輩出してい

る。長い歴史のあるこの町には、

朴素な物がよく似合う。この町

で長く受け継がれるものに「萩

焼」がある。萩焼といえ茶の

世界では、「一樂・萩・津津浦」

を受け継ぐ風格、あたたかみの

文化である。高麗茶碗の伝統

を受け継ぐのかなど、いろいろ

ある。まだ記憶も新しい、あの

お、緑を育てている。こ

うるお、緑を育てている。こ

読者の広場

期待まじりの予想



高 島 浩

（1）私は、株に過大な期待をかけたり、分不相応の過大な投機には反対だ。多くの国民が参加したこの株が悪い風潮を生まないよう、年末まで上りもせず下りもせず、面白くも何ともないということであつてほしい。

（2）ガンジー、サンチャー、アキノ、と、今世紀も終りに近づいてつれて女性の活躍がめざましい。当然日本も遅れをとつてはならない。タマはどうか、何分にも女性である。

（3）私は、株によって、一旦事が龍虎相打つ米ソのあり方をくされば吹き飛ばされてしまう。

（4）内高はもう勘弁してくれ。私の企業も、友人たちの企業も、でも芸能でも、ガインが活動している時代だ。巾広く考えてみよう。

（5）今年の新年挨拶で、去年はトラン、来年はタツ年で、その間にはさまたたウサギは、関係の新年挨拶で鈴木理事長が書いておられた。経済大国だと背伸びても、一旦事がと相談も受けなかつたものですが、別として、予想とか、期待とかいうものは、人生の楽しみの一

ことだと思う。

立派な機動隊員に

岩手県葛巻町 山本由藏

機動隊のみなさん、連日の勤務大変御苦勞様です。

こちら、岩手県葛巻町は、農業が主体で、まわりは、自然の座敷にしていて、今年も皆が投票し、胴肉である私が、一枚のアンケート用紙を預かる。これは、年末まで、私も見ないし、誰にも教えない。

今年のアンケートへの私の回答は、絶対に自信を持っているが、しかし、ルールに従って、これも誰にも教えられない。そのかわり、こうなるだらうといふ予想ではなく、こうなつてほしいといふ好みを、つぎに記してみたいと思う。

結局は、旅闘力学によつて決まるのだろうが、出来ることなら選派閣がいい。そして、今後、雇やこくなるだろ

うと、日本人では無理だ。

（第3ページより続く）

（6）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（7）浩宮妃殿下が正式発表される

（8）十九年以来、国内で心臓移植手術が行われるか

（9）プロ野球で落合選手が三年連続で三冠王を達成できるか

（10）三浦百恵さんは芸能界に復帰

年末年始に、日本記者クラブでは例年、新しい話題となりそな出来事の予想アンケート問題（十問）を作っている。このアンケートは新聞記者ばかりでなく一般の会社員など、かなり広範囲に人気があり、お楽しみ程度のトトカルチョにも使われているようだ。一問正解一ボイントで、点数の多い方が優勝する。

左記の第1問については具体的な名前、第2問以下は、YES・NO、で答える投票して置いた関西機械株式会社（鉄筋用丸棒製造メーカ）が集まつて作つてある共同版売会社のメンバーの間でも、丸棒相場の当てつことなど、興味と実益をかねて行つて居る。さて、この日本記者クラブのアンケートについては、例年、親しい仲間十人ほどの新年の会合の座敷にしていて、今年も皆が投票し、胴肉である私が、一枚のアンケート用紙を預かる。これは、年末まで、私も見ないし、誰にも教えない。

（今年の問題）

（1）本年十二月末の日本の首相はだれか

（2）日本で女性閣僚が誕生するか

（3）東京外為市場で一ドルリーフ

（4）米ソ首脳会談が開催されるか

（5）米ソ首脳会談が開催されるか

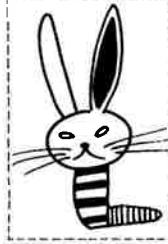
（6）ゴルバチヨフ書記長が来日するか

（7）浩宮妃殿下が正式発表される

（8）十九年以来、国内で心臓移植手術が行われるか

（9）プロ野球で落合選手が三年連続で三冠王を達成できるか

（10）三浦百恵さんは芸能界に復帰



遠き南国から

沖縄県読谷村

仲曾根徳一

息子が地元の高校を卒業して、東京へ就職に出で早いもので六年が過ぎました。その後、民間会社へ二年間勤め、その後、警視監官になりました。

息子から、警察官になるなどと相談も受けなかつたものですが、息子が警察官としてやつて行けるのか心配しましたが、自分の事は自分で何も決めたままの性格でしたので、私自身、どうぞ伸びても、一度事が

あれば吹き飛ばされてしまふ関係の新年挨拶で、鈴木理事長が書いておられた。経済大国だと背伸びても、一度事が

あれば吹き飛ばされてしまふ

（4）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

お知らせ

北海道支部総会

六十二年三月三日（火）十八時

北海道支部総会

（5）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（6）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（7）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（8）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（9）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（10）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（11）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（12）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（13）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（14）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（15）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（16）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（17）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（18）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（19）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（20）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（21）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（22）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（23）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（24）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（25）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（26）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（27）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（28）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（29）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（30）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（31）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（32）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（33）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（34）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（35）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（36）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（37）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（38）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（39）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（40）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（41）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（42）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

（43）内高はもう勘弁してくれ。私は、警察官の職務とは、ど

うのものかわからせんが、人間社会の中で最も大切な

ことは、「他人に迷惑をかけてはいかん」と、小さい頃から文

男に教えて来たつもりです。

今月の言葉

自分の仕事に全力を尽すことは大切なことだが、それだけではお互いの切磋琢磨として成長していくには十分ではない。
極端な話をする、毎日勤めで運営となり、帰宅するとかわだらしく夕食を済ませ、テレビを見て就寝、という人が十人中八、九人の生活バターンではないだろうか。しかし、そういう生活を重ねて定年を迎えるのが、人間として極めて不幸なことだと思う。

ると思つてゐる。こうう習慣をつける人とつけない人とでは、長く一生で大きな差が出てくる。その人の幸か、不幸の大いな分かれ目になつてくるのである。是非とも静かにものを考え、勉強することを

「……先日も申し候通り、結構な出世を喜びながら次の様な手紙を送つてゐる。お役をおあせつけられ、我が身の喜びこれに過ぎず候。さぞさぞお暇なくお勤めなさるべくと察しりやうらせ候。お役は必ず必ず不足あるまじく候。年が若くて、かようなる御勝手役をおあせつけられ候段、海山ありがたくねがわしく存じ参りませ

研修

捨て候へて、悔ひを残す人にならぬ様に、これのみ專一に念じ参らね候」母の子に対する心情に胸打たれ實に感動的な手紙である。要するに私のいわんとするところは、お互に仕事に忙しい、仕事に忙れるが、しかしこの精神で自己研修に努めて欲しいということである。これがひいては仕事にもまわりもまた生かされると、自分の生涯を本当に幸福にすると確信するからでもある。

高知市の中南部、深い緑に囲まれて一際高くそびえ立つ高知城。この城の迫手門から東へ約一キロ、櫛とフニックスの並木が茂る追手筋通りが延びている。毎日曜日には、この道路の両半分で、六百余の露店が二列に向かい合って立ち並ぶ「高知名物・日曜市」が開かれ、市民はもとより大勢の観光客で一日目にぎわっている。

高知県に關する約一
般の街市が街のどこかの筋で最も開かれているが、その中で最も有名なのが「日曜市」である。市ならどこにもある」と言われる向きもあるが、高知の日曜市は、三百年の歴史と伝統、その規模、にぎわい等からみて他に類を見ないのではないかと思ふ。この市の起りは、元禄三年(一六九〇)四代藩主内豊昌によつて、(第4ページへ続く)

北海道支部総会



守りの盾となる機動隊

は
け
ま
し

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を)

北の防人を激励する当励ます

北から南から

古都に春を求めて散策
神奈川県警察本部教養課

生涯の自己研修

（海の跡の跡を残すところ）と呼ばれていた函館は明治時代、浜松、長崎とともに三大開港場のひとつであり、北海道で最も古くから開けた所である。

そのため外國文化の影響も大きくなり、ビザンチン様式の白壁の建物ハリストス正教会、日本唯一の純中國風レンガ造りの中華会館、新選組副長、土方歳三が立て籠った日本最初の洋式築城である五稟堀、史跡等エキゾチックな街であり、また、大森浜の啄木公園には函館をよくなく愛した詩人『石川啄木』の本を片手に思索する屋像があり、その台座には「潮かがる」北の浜辺の砂山の「かの浜」舊暦上今年も咲けるや」と御存知の歌が刻まれており、観光客のメッカとなつていている。

そして、函館山から見下ろす夜景はナボリ、香港と並んで世界三大夜景のひとつに数えられ、夏から秋にかけては「いかつ津船」の漁火が不夜城のことく津輕海峡を映ししている。

函館方面警備隊である。昭和十四年四月、第一次安保関争合戦備対策の一環として管区機動部隊が編成された際に、北海道はその名称を「北海道警備隊」として発足し（函館、旭川、釧路、北見の各方面本部に置かれる）我々は、この方面本部に置かれる治安、災害警備等、方面本部の直轄部隊として道南（函館の南部地域）の治安の要として活躍している。

出動の面から云うと、当方面のみならず、道内の警備出動はもちろん、最近では陸路八時間で海路二十時間を要しての成田や港警備東京サミット警備等での活動の範囲を広げているが、昨年一同、警視庁機動隊に追いつめられ、追いつめられ、追いつめられ、追いつめられ、追いつめられ、追いつめられ、

月はるばるきたせ　はーこ
だてへーと北島三郎の歌でも
お馴染み、青森が津軽海峡を
隔て、北海道の玄関として名高
いふ由。アイヌ語でラヌー。
また、昭和六十三年には、
州と北海道を結ぶ世界最大の
函トンネルが完成し、これを
愈した青森博覧会が予定され
いる。つづく四日目は、

古都に春を求めて散策

神奈川県警察本部教養課

厳しい訓練を終えて

関西新空港の建設が始まった。大阪・泉州沖に立地が決まってから13年、ようやく動き出した日本初の24時間空港をという計画だが、68年春の開港にこぎつけるまでには、難問はなお数多く山積している。とくに治安面では「西の成田闘争」をと、うとう中核派など新左翼は、すでに反対活動を進めている。こうしたなかで大阪を軸とした機動隊の出番が増えてくる治安の尖兵として隊員たちは自分の責務をいずれも痛感している。新隊員訓練を終えた隊員が新しい戦力となってがっちりとスクランブルを組み、不測の事態的確に対応していくことはいうまでもない。

「何を持ってお風呂に行つての」台所で夕食の準備をしていた風呂であつた。確かにマスクを持つて風呂に入るには子供じゃあるまいし、不自然に感じるのは誰が見ても同じである。

自分でも成田警備出動から一週間ぶりに我が家に帰ってきて風呂にマスクを持つて入ることが滑稽に思えたと同時に、何か複雑な気持ちであった。次の日から始まるランダム新規員訓練を前に、不安が優先する心境を抑えるには、翌日、同僚や指導員の手を引つ張らないようになることはもちろん、人よりも一步でもリードしておくことがひとつ的方法だと思い、行動に移

はいかなかつたが、心の動揺は日々取り除くことができた。前に日にいろいろと迷い、自分の心の弱さといふものを痛感するもしたが、過去にも先輩達が乗り越えてきた道であるし、私も身旅ぐことは苦手ではないから一生懸命やるだけだと心に言い聞かせ、明日からの訓練に備えをしたり、そして訓練の初日を迎えたが当日は座学と聞き、費念でならぬ訓練だった。できれば、一日でも早く訓練をしてしましかったところのが正直なところだ。

二日目から期待していた実戦訓練に入った。シユーノーケルクリア一、マスククリア一、三点着脱。特にマスククリアは思っていたようにいかなかつた。同僚達

実際に、座学で学び初めて体験するマスククリアーをやつてみたところ、風呂が狭いせいも

はお数々、出資している。こうして治安面では、西日本新聞社をと、うたう中核派など新左翼は、すでに反対活動を進めている。こうしたなかで大阪を軸とした機動隊の出番が増えてくる。治安の尖兵として隊員たちは自分の責務をいざれも痛感している。新隊員訓練を終えた隊員が新しい戦力となってがっちりとスクランブルを組み、不測の事態に的確に対応していくことはいうまでもない。

ルへと訓練場所で移動する。金剛アーチの下で江ブームで汚い水にでもなれていないので、水深5メートルのブームの水もあり抵抗を感じなくてすみ、ボンベの操作もそんな中で、訓練も終わり、○日間の厳しい訓練の成果を吐長に点検していく。だく日がき点検後、ワッペンをもらってきて、「本当の正念場はこれから」と言ふ隊長の言葉に、胸につまらるワッペンの重さといふもの十分に考えさせられた。

私は大阪府警のアクララン隊員の一人として、日々精進することは勿論、ワッペンの重さに負うことのないよう精神

訓練は順調に進みながらも、そのメニューは日一日と厳しくなるとなってしまった。五〇メートル潜水で始まり、三点游泳終る住之江ブールでの訓練。に五〇メートル潜水について足ひれをつけてはいるものの、いつも自分の人との闘いで、度か挫折しかけたが、ここぞで抜けた後、後に待つている訓練へと負けるような気がして、もの狂いで頭張った。この住之江ブールは非常に、つており、視界が悪くて三點装や四点装では、物が見えないと思うようにならないため、何こんな汚いブールで訓練を立てたしさえも覚えたが、際の出動は、もっと汚いところで潜水をしなければならぬのだと何度も心に言い聞かせをして、私が痛切に感じたのは、まず、水中での水の恐ろしさ。そして、空気中でなげなげやつている空気がどんなに気持ちの悪い状況の中で泳ぐのだから、実際に重いポンの空気を吸つて身にしみて分つた事である。

第六中隊 森本 圭二

機動隊恒例のアクアラング、新隊員訓練が実施された。私は幸運か不幸か、新隊員に選ばれ、厳しい訓練を受けることになつた。私は以前から、機動隊員となつたら、レンジャーよりアクアラングを選ぼうと考えていた。というのも、ある機動隊の先輩から、私が昇任試験に受かった時に、「おまえは、若いから機動隊に行くかもしれない。分隊長で行つたら、アクアラングとかレンジャーかどっちかやらなければあかんで」と言われ、私は「泳

とをやり遂げたといふ満足感などあつたが、ひとつだけ自分自身に納得のいかなかつたことがある。それは、五人で一本のボンベから交互に空気を吸うマウスピース交換訓練で、私は儘か五秒いや四秒位か、この数秒を辛抱できず水面に顔をだし、呼吸をしまつた。今思えば、あの時、私のもつ冷静に対処できただけの余裕があれば、水面で空気を吸わなくとも、数秒待てば順番で空気が吸えたのであつた。

いざれにしろ、これが訓練であつたからよかつたものの、実際の現場でこのような軽率な行動をとつていれば、私自身はもろろん、他の隊員に大きな迷惑をかけ、一步間違えば重大な事故につながつていたことは言うまでもない。

このような経験から、私の感じたものは、いかなる状況下においても心に余裕といふものがあれば、冷静な行動がとれるることを確信した。

また、実際の現場では、単独で潜水し、捜索することはなく常に二人以上で行動を共にする

それでも、新隊員訓練は私にとって非常に厳しい訓練であり、毎日が肉体的にも精神的にも、緊張の連続であった。しかし、私はこの訓練をとおして、以前のことであるが、次の一点を学び、最確認した。

まず第一に、何事も前向きな姿勢で取り組むことが大事である。誰しも苦しいことはいやである。避けて通りたいといき気持ちは持つては成らない。自分で抱いていては成長はない。自分から積極的に向かっていく気持ちが大事であり、それを乗り越えてこそ、自信につながり、又、苦しさを半分にしてくれるということである。

一方が喜んで、もう一方が悲んで、それが何よりもうれしい。そこで、私は予想どおり第一機動隊へ転勤して、先輩に言わねばならないことを話していると、「何を希望して、なんに任せたい」と、その時には、何の不安もなかったが、先任分隊長や隊員にアタックラングのことについて質問や話をしていると、「何を希望して、なんに任せたい」と、私は泳力でせよ。泳がれへんかつたらできません」と、私が聞いた話と大分違うことや、水压や減圧症等の潜水するととの恐怖を教えてもらいつれ、自分が無知であったことを痛感するとともに、自分にはできるだろうかという不安の二文字が、頭の中に詰み込まれた。

しかし、不安だからといって逃げばかりはいられない。新隊員としてやるからには精一杯がんばらなければならぬ。幸いにも新隊員訓練は、もちろんの行事で延期となり、その間、夏場にブルーで泳力を付けることができ、又、中隊訓練、小隊訓練を実施してくれたおかげで、ある程度こなせるといふ自信がある。

第七中隊 東條 洋行

私は、今やつし機動隊員として、ひと通り大きくなってしまった。出動服の左胸に付いている勲章に恥じないよう、これからも、鋭意努力していくなければならない。アクアラグ、バンザイ！



ワーカーにもつながる。それで、全体のチーズ味であります。そこで、アクリアラングは、バディを組み、必ず複数で活動する務であるので、自分勝手に行なうことには危険であり、互いに相手の立場に立つて協力して、手を面を補つてやるということが重要である。それは、機動部隊の通常の執行務においても、事なごとくも、私がこれからを学ぶとともに、私はこれから機動隊員として勤務していくべきで、大きな自信となつた。
ともあれ苦労はしたが、一日間の厳しい訓練を終え隊点検が無事終了し、隊長から「S R P」という三文字が入ったワッペンの交付を受けた時、何とも言えない嬉しさを感じるのは、私だけではなかつたと思う。
最後に、訓練を終了したといえ、すべてが終わつたわけではない。アクリアラング隊員の価値を發揮するのはこれからである。私は達は、その第一歩を踏出しただけであり、これから中隊訓練や出動等を通じて、己の技術の向上を図つていかなければならぬし、それが、

なければならぬ、アクリアダグ、レンジャー隊員となるを訓練を、無事終えたからである。自分自身、やり遂げたからいいことを成し遂げたからう、喜びでいっぱいである。思いの起こせば、アクリアラング訓練の始まりは、潜水士免許取得するところから始まつた。夏の暑い日、艦載安全衛生技術センターライに潜水士免許取得のための試験を受けた。すでに、潜水士免許を持つてゐるアクリア隊員から、試験は簡単で、不合格になるとほんとしない。特に分隊長が今までにこの試験で落ちた者いない」と、プレッシャーをかけられながらの試験であつたが、どうにか不格にならぬに安心したことを見えていた。

アクリアラングの今学年は無理で、帰つてから自宅の風呂場で練習を重ねても、一分も水の中で我慢することなど

極左暴力集団は「国鉄分業化反対」を標榜し、国鉄に対する同時多発ゲリラを敢る等国民に多大の迷惑をかける。また、「一〇・二六成田現争」では、各セクト共に機動隊等で「機動隊をせん滅する」と表明し、活発な活動を展開していた。

機動隊においても、テロリズム事案の絶無を期する為部制勤務を一部制勤務に変更等の厳しい警備情勢の中五日間の「第一四期レンジ新隊員訓練」が始まつた。訓練は、情勢に対応する

当初の予定を大幅に変更し、レンジャー指導員、訓練員以外の隊員の協力を得て、最大限可能な時間を取りつて訓練する体制が取られた。

各隊員とも、「どのような訓練をするのか」などという不安を胸に、私自身も最後まで続ければならない不安を拭い去る事ができなくなってしま訓練初日を迎えた。しかし、自己の置かれた立場上、絶対最後までやりぬかなければならぬといふ意地と気力で、訓練に臨んだ。『矢でも鉄籠でも持つてこい』という半面開き直りの心境でもあつたと思う。

新隊員訓練は、レンジャーの基礎を反復訓練することにより修得し、これから各中隊のレンジャー隊員として、人命救助等の諸活動において基本となるものである。私は踏まえて、各指導員は心を鬼にして指導にあたり、訓練員も真剣に指導員の指示を受け訓練に励んだ。

訓練は非常に厳しいもので、一本ブリッジのセーラー・モンキーは足の痛みをともなう、腕の力を使い果たして腕をパンパンにはらしてやつとの思いで目的地に到着し、申告の後、自己反省のために腕立て伏せを數十回する等、自己との戦いに戦々感を克服しなければならない。

一本ブリッジのセーラー・モンキーは足の痛みをともなう、腕の力を使い果たして腕をパンパンにはらしてやつとの思いで目的地に到着し、申告の後、自己反省のために腕立て伏せを數十回する等、自己との戦いに戦々感を克服しなければならない。

A line drawing of a person wearing a hard hat and a safety harness with a back D-ring. The person is standing next to a vertical dashed line, possibly representing a fall arrest system or a wall.

「進取・克己・団結」を目指すものだと言つても過言ではない。ロープ結束から始まり、一本ブリッジからフォールに至るまで、どれをとっても汗を流さず、に身に付くものではなく、なかで

こうしたさまざまなお手伝いの指導や、激励のおかげで、待ちに待った隊長点検を迎えた私は、にとって、指導員の大きな一声が、次のように聞こえたのである。「さあ、頑張つて来い！」

しかし、この訓練を通じて得をしたものが多くあつた。指導員の方には、叱咤激励してもらひながらも、指揮していただいた。これが、新隊員訓練を機動隊の出発点とし、先輩のよう立派な隊員を目指して頑張つていきた

標にしようと思つたのである。

一、仲間意識の高揚について――

一緒に汗を流し、一緒に苦労をする

分けあつた者たち、何か同僚といふよりも「友」に近いものに感じ、これがいわゆるチームワークにつながるんだということ

10

感を克服しなければならない。一本ドリッジのセーラー・モンキーでは足の痛みをこらえ、腕の力を使い果たして腕をバンバンにはらしてやっとの思いで目的地に到着し、申告の後、自己反省のために腕立て伏せを數十回する等、自己との戦いであった。

朝出勤する時、訓練のことを考るほど、急に身体のあちこちが痛みだし、虚脱感にかられることは幾度となくあったが、いざ訓練が開始されると、身体の痛みも忘れ、厳しい訓練を歓んでしまって頑張った。今思起こせば、分隊長として隊員を起立させるため垂涎範しなければならぬという意地と氣力が、そろそろ止むようと思えていた。

が十二分に力を発揮することはできるレンジャー部隊作りに力を注ぎた。

警備第一機動隊のスベシャルスキー・ボリスの一人として、これから訓練の一層努力して、誰にも負けないレンジャー隊員を目指して頑張っていく。

「……情けない言葉がよぎつた。なんともたとよのない気持ちだった。しかし、人間というものは、おかしなもので、ここまで追いつめられてしまながらも『鬼』の指導員の気合の入った一声で、私はいつの間にか、体をロープの上にあすけていた状態になり、気付いた時に、遠くに見えていた到着地点に達した。私はこの時、ただ指導員に感謝するだけであった。

又、この日から、訓練関係者以外の諸先輩の方の言葉ばかりでなく、顔までがいつも『頑張れ』と激励してくれている温かいものを感じる事ができたことを実感であり、勇氣がられたことも幾度あることだろう。

心の中であと少ししたと思いつながり、頭張った。また、遅れをさうにすると、励まされながらなんとかついていくことが出来た。

この駆け足で、自分の体力のなさを痛感し、走ることは何事においても基本であるといふことを思い知られた。これからは日々努力していくしかなければと思ふ。訓練内容については、警備隊のつくり方、盾構法、撃部隊活動を行つたが、ほとんど忘れており、最初は戸惑うことにばかりであった。指導してもらひ、何回も繰り返し訓練しているうちに、完全ではないが、なんとか形だけは出来るようになつた。

くの思いがついたものである。
私の意思とは無関係に、訓練部隊は隊長点検に向かつて確実に前進して行く。激しい汗、そして破れる血まめ、馴れぬ警備部隊訓練、そして臨時とはいえ、小隊長の重責。ただ一懸命頑張つていく。緊張につぐ緊張、私自身、どんと号令をかけ、どこまで走ったのかも分らなくなつたが、隊長点検を無事終了することができた。

思つた。他の人たちから異なると、機動隊には行きないなど、いろいろなことを耳にした時もあつたが、私は一度も卒業した時から早く機動隊に行きたいくと思つてゐた。

前へ校へち災隊力でたしくう氣持ちであつた。この新隊員訓練は、まず隊員としての第一歩で、それを大切にやつておけばならない。訓練を終中隊へ帰った時には、少しお筆方に迷惑をかけないよと苦しい時もたくさんあるが、力の限り頑張つて決意だ。

当初の予定を大幅に変更し、レンジャー指導員・訓練員以外の隊員の協力を得て、最大限以外の時間を使って訓練する体制が取られた。

各隊員とも、「どのような訓練をするのか」などと不安を胸に、私自身も最後まで続ければれるかという不安を拭い去る事ができないまま訓練初日を迎えた。しかし、自分の置かれた立場上、絶対最後までやりぬかなければならぬといつぱん心配の力で、訓練に臨んだ。それは、「矢でも鉄砲でも持つてこい」という半開き直りの心境でもあったと思う。

新隊員訓練は、レンジャーの基礎を反復訓練することにより修得し、これから各中隊のレンジャー隊員として、人命救助等の諸活動において基本となるものである。それを踏まえて、各指導員は心を鬼にして指導にあたり、訓練員も真剣に指導員の指示を受け訓練に励んだ。

訓練は非常に厳しいもので、一本フレッシュ、座席懸垂とともにいえることがだが、高所への出発からでり、まだ、高所への出発

隊長点検を受けた。私は点検を受けた。私は点検を受けた。私は点検を受けた。
当初のトップ「前座席懸垂」を担任することになり、再度懸垂の中、「レンジャー仲田、降下準備よし」と第一声を発し、無事降下することができた。

点検終了後、指定書と一緒に「レンジャー章」の交付を受けた。各自、交付を受けたワッペンを手にし、見入っている者や指導員から「おめでとう、よく頑張ったな」と、頭張ってきたので、ワッペンを交付を受けた時、それまでは、わざわざ笑みを浮かべていた顔がおもわず笑みでゆるんでいたことが印象に残っている。レンジャー隊員としての一つの節目を達成したという充実感がそぞろさせたようだ。

これからは、第一機五中レンジャー一分隊長として、更に訓練を重ね、知識・技術の向上を目指し、今回のレンジャー新隊員訓練で培った基本を敲きだし、自己鍛磨に努め、又、基礎体力の鍛錬に努め、緊急の場合の対応能力を高め、常に命至上主義を貫く自らの立場となり、隊員全員

生れて初めてやるレンジャーニューストーリー。生まれて初めてやるレンジャーニューストーリー。生まれて初めてやるレンジャーニューストーリー。
「訓練には、ロープをつたつて降りる座席、ロープ一本に身をまかせてロープを渡るセーラーモンキー、ロープ一本によるフオール等、十数回の体験の訓練は足がすくみ、体験したことのなかくなることが何回もあった。
しかし、これを渡りきるといふ意味の強さとやる気でカバーし、ひとつ一つクリアすることにより、自分自身に勝つ思いがしてついた。このように訓練が進むにつれて、隊員同志協力しあつての団結心が生まれ、また精神面ではもちろんのこと、身体が鍛えられ、自分が成長していくような気がしてきた。
最後日の隊長点検には、各新隊員が、今までやってきた訓練の成果を十分に発揮することができた。点検後レンジャーフォームの指定書とワッペンをもたらす時の新隊員の喜びと涙は、人の中では思えないことのできなった。だ。
達若い隊員も負けてはいけないためにきめて厳しい訓練に励んでいた。

も一本ブリッジ・モンキー渡り等は、まともに自分の体重が腕輪にかかるところ、渡り終えようとする頃には、腕の筋肉がパンパンに張り、あと三回手を伸ばせば到着できると分かつてしまも動けない等、今考えれば、かなり苦しいものであった。こうしたところから、果たしてこの運びがやり通せるものだろうか、といった不安感で恐ろしく、孤独感にさいなまれようであった。このような私にとって、目に映る指導員の顔はまさに「鬼」そのものであつた。まして、私の場合、高所恐怖症といふことで、遊園地のらよつとした高さのある乗り物にもつとまらぬ恐怖心を抱いていたから、あの高い腕輪舍間をロープ一本だけで渡ること自体、無謀なことのように思えてならない。

今ではつまり覚えているが初めて腕輪舍間を渡ることとてあった。私は、三番手として順番の来るのを待つたが、前の人のがいよいよ渡り始めた時に私の脳裏にふと、「今から間違った」ということを

「これからは、お前の一代だ。
そして、私はそれに応じるつもりで、隊舖中に鳴り響くようにならん。」
に叫んだ。「レンジャー一石丸、
降下準備よし」と最後に隊長も
点検が無事終了したことと、指導
導員が流した鬼の目にも涙は、
いつまでも忘れない。

た。」

二、体力気力の充実について
体力気力その他全てについて
半人前の私のであるが、第二
隊への入隊との訓練を位
け、やり遂げたといふ満足
今後のステップにして、更
力の充実を図りたいと思う
三、リーダーシップについて
私は、今回小隊長代理に
らせてもらったが、自分自ら
指導力・リーダーシップの
を感じた。人をまとめ、統
な行動をとらせるといふこと
難しさをいやとうほど感
せられた。今後は自己啓発を
め、眞のリーダーを目指し
以上三点をこの訓練を通して
一切に感じたものである。
「サ」への道は遠い。しか
達である道である。今後、
訓練で得た貴重な体験・教
胸に日々努力頑張つていき
と思う。眞の機動隊員「ハ
サ」を目指して。

ある。私もいつかあの機動隊は、
自輩のようくに機動隊へ入った。
張つてやるぞ」と思つて、池田署に赴任した年に機動隊を始めたが、思ひどおりにいかず、二回目の機動隊希望により、嬉しく思つてゐる。
第二機動隊に入隊し、新隊員訓練がある。今まで店頭などあまり持つたことがなく不安もあつたが、どうせやるなら悔いを残さないで頑張るだけだと、自分自身に聞かせた。今まで、少しへ少しへレーニングをしていなかつたが、さすがに初日は、身痛くてたまらなかつた。
訓練をやつっている中で、一番心強かつたのは、警校時代に汗を流した人の姿である。自分自身といふと、いつも横にいる同期の人の苦しんでゆがんでるを見て、あいつが頑張つていいから、苦しいのは自分一人ではないと思えば、自然と元気になってきた。間が長く感じられたが、時間が長く感じられたが、これまでできるんだ。
う

新隊員訓練

第六中隊 西田 忠同

きょうも訓練、伏せの実施

今月の言葉

成田警備の軌跡

機動隊血と汗の治安

日本人は、外国人に比べて宗教心がとぼしいと言われているが、外国语の若い人々と話してみると、歐米でも、日曜日ですら教会に行く人が少なくなってきたといふと、日本人だけが特に、宗教心を持つていなければ、何でもなさそうである。

日本人が仏教に接するのは、葬儀やお彼岸等であり、僧侶が唱えるのは、漢訳された経文であり、仏の教えは、僧侶が経文の意味をわかりやすく説かないかぎり、大変難解なものになつてしまふ。

これに比べると、聖書やコーランは、なんじ……すべし、なんじ……

お 経

そのリズムになれ、内容も少しづつ理解できるようになる時、私は、仏様につかえる僧侶の方々も、時間の許すかぎり、お經の意味をわかりやすく一般の人伝え、漢文の先生と生徒の様に、お經を一緒に唱える習慣を広めてゆけば、葬儀やお彼岸の中でも、もう少し自分をみつめ直し、どう生きいくかを考えるチャンスが生まれるのではないか、と思うのである。

人間はこの世に生を受けて、色々な事を覚え、自我にめざめていくが色々な知恵がつけばつくほど、色々なことを覚えていく。物欲や性欲、色慾といったものに、あまりこだわりを持ちすぎると、個々の人間もいびつなつてしまが、いつたん知恵のついた人間は、このこだわりを容易に捨て切れるものではなから、一日にせめて一回、経文を唱え、垢のよにこびりついたこだ

エイズの被害が拡大していく状況等を考えるに、人間が、そのすべての鎖を解き放されて自由にふるまう時、何をやつてもよいのだと、人間がおどつた時、人間の知を超えた何かがこれを拘束する。人類はこの新しい病を、必ず克克服するのでは、我欲の極限までの拡大を望む、人間に對しての、一種の警告のような気がしてならない。

す、千葉県知事は、四六年二月二日から三月六日までの間、空港建設の妨害となつていた駒井野地区の「一坪運動用地」に對する第一次代執行を行つた。さらに、九月六日から〇日までの五日間、「一九日は作業中止」と、最後まで滑走路建設の妨害となつていた駒井野、「天狼」「木の根」の各団結小屋及び社会党の「一坪運動用地」(一、二七九メートル)等五箇所に對する第一次代執行を行つた。

機動隊血と汗の治安

里塚に成田空港建設を開闘決定してから、二三年目を迎えるようとしている。この間、極左暴力集団によつて一連の激しい反対闘争が続いており、これまでに警察官五人を含む「一人が死亡し、多数の負傷者が出了た」。当初予定されていた昭和四六年四月には、大幅に遅れて五三年五月となり、空港が全部完成する時期となるといまだ全く予測できない現状である。成田空港の着便数、旅客数は年を追つて増加しており、最近、空港機能の強化や長期目標である空港の完成を目指した動きが活発化している。

当初激しい反対運動を繰り返し行ない、反対運動のリーダーシップを握つて、成田市・霞ヶ浦町・成田空港反対同盟は、年を経ることにその活動も衰退し、「二期工事予定地内に残つてゐる反対派農家は八戸となつた。」

このような反対同盟とは裏腹に、成田空港を「軍事空港」と位置付けてゐる極左暴力集団は、約三・五キロメートルも飛ぶ「爆発物」や、一度に多くの人を殺傷することができる「圧力

今回の焦点は、二〇年たる成田空港警備を顧み港九年目を迎えた成田空港左暴力團体から守るにはべきか。今後の警備についてみたい。

反対同盟の結成

昭和四一年七月四日、東京閣は、手狭になつた東京

反対同盟の結成

。向長派、に、に、さ

ばげよし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し、会員の中には購読料を含む)

「爆弾」を開発して、成田空港
機能をまひさせるため、各地
で「ゲリラ」事件を起こしてい
る。

港（羽田空港）に代わる新国際空港を、千葉県成田市に建設することを閣議決定した。

しかし、同盟員の中から、一定の条件が整えば空港建設に賛成という者（条件派）が出てきたため、反対同盟の結束も崩れ



第三種郵便物認可

妨害鉄塔を撤去

そして翌五月七日、運輸省は「**YS-1**」一型機「千代田号」を使用して、航空保安施設を検査した。羽空空港を離陸した。羽空空港を離陸した。羽空空港を離陸した。羽空空港を離陸した。
しかし、極左暴力集団等は、

念願の一
番機が飛來

する極左暴力集団一五人の別動隊が、前夜から潜んでいた排水

左翼暴力集団等は、各自結小屋の周辺に空堀を掘るなど、執りハリ妨害するための態勢を固め、期間中延べ一万五、三〇〇人（うち極左一万四〇〇人）を動員して、激しい反対闘争を行った。

千葉県警では、この第二次執行期間中に四七五人を公務執行妨害・暴乱準備容罪等で逮捕した。しかし、九月一六日午前七時前、東峰十字路で警備に当たつていた神奈川県警の機動隊が、付近の竹やぶに潜んでいた極左暴力集団、反対同盟等約六〇〇人以上の者に襲われ、福島小隊長、柏村分隊長、森井隊員

五月七日から二〇日間、延べ六、四〇〇て、空港に火災車をともに、警備部隊や石塊等を投げきし、イブ等で隣りかかづとの激しい対戦闘が特に、この連続襲撃月九日未明、芝山町東署駆ケ臨時警察備中の岡田巡査部長んや角材を手にした團等に襲われ、全身負い、二二日殉職し千葉県警は、この七八人を公務執行妨害集会罪等で検挙し

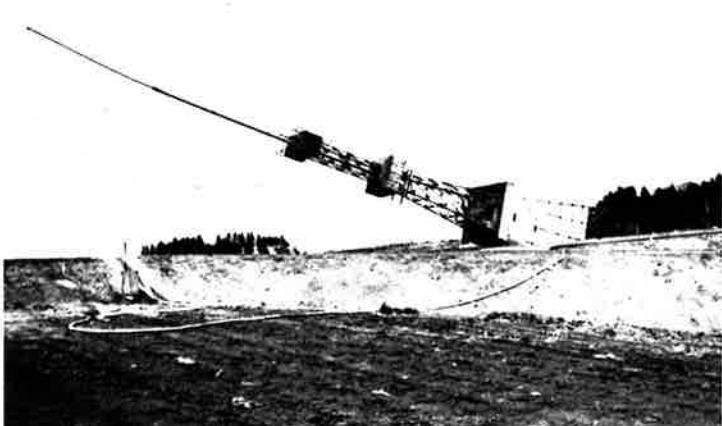
までの四日
人を動員し
突入させる
に火炎びん
たり、鉄バ
たりするな
を展開した。
ては、五
長良前の成
吉野所で警
が、火炎び
極左暴力集
にやけどを
た。
反対闘争で
害・凶器準
た。

千葉県警では、この鉄塔が航空法違反となるため、一月六日から七日の深夜にかけて鉄塔の検証・押収活動を行い、この活動を妨害した四五人を公務執行妨害罪等で検挙した。ところが二月五日に再び「要報」の旨に「新たに鉄塔を構築したるにせば再び鉄塔の検証・押収活動を行つた。

ため、三月三〇日に予いた開港は、五月二〇日せざるを得なくなつた。この警備活動の反省から、左暴力集団の進犯行為を防ぐためには、極左暴力集団の活動を封鎖・除外する使用禁止による結団小屋の使用禁止、封鎖・除外を講ずるのでなければならぬのではないか。より「新東京国際空港建設に関する緊急措置法」が制定され成田新法)が制定され、五月一三日公布された。律は同月一六日、「岩屋」(木の根田結婚)

定されて日に延期から、極を封圧す集団等が要塞等去等の措ば、これいかとの員立法にの安全確「（通称「、五、三年。この法山團結小に、また、

午前〇時、進入管制を開始し、
国際空港として開港した。翌
一日午前八時三分、ロサンゼ
ル発京航貨物便が、一番機と
て成田空港に着陸した。
こうして成田空港は、四二
の閣議決定以来二年目にい
ようやく正常な業務を開始す
るに至った。しかし、極左暴力
団は、依然として富里ボンブ
に火炎びんを投げたり、
総合水場に農薬を投入したり
て、「グリラ」を繰り返し引
起こした。



個人宅を狙った事件（昭和58年以降）

攻撃目標		59年	60年	61年	合計
成田闘争関係	空港公團関係者	3	3		6
	警察施設(駐在所)	2	1	3	6
	千葉県知事	1			1
	千葉県職員		1	2	3
	工事関係者			1	1
	運輸省職員			2	2
	その他			2	2
小計		6	5	10	21
その他の	国鉄職員 (国鉄分割・民営化 反対闘争)			3	1
	県職員 (北富士闘争)				1
	小計			3	5
合計		6	8	12	26

（一九歳）の二人を焼死させ、一人に重傷を負わせる「ゲリラ」事件を起こした。成田空港反対闘争に関連して、ついに極左暴力集団の「ゲリラ」が奪われてしまった。東鉄工業は、五七年一月から、千葉港頭石油ターミナル基
事件により、「市民の尊い命が奪われてしまつた。」この東鉄工業放火殺人事件を境にして、極左暴力集団は、空港、航空保安施設等のはか、県境にして、港、航運業者等の「個人宅」に工事請負業者等の「個人宅」にに対する攻撃を行うようになつた。



* 都道府県別発生状況

〃爆発物〃を使用

昭和六年四月二日午後八時八分頃、成田空港の西側農道上に駐車台から、空港に向て一動車荷台から、爆発物が発射され、約一キロメートル離れた旧工事局駐車場に落下して、駐車中の車両が大破した。

ところが、「東京サミット」開催中に、中核派が新宿区矢来町の「マンションから発射した五ヶ発の『爆発物』は、約三・五キロメートルも飛んだため、成田空港の警備強化も、「キロメートル圏から一撃で四キロメートル圏にまで拡大を余儀なくされより厳しいものとなつた。



集団武装闘争の開始

○二・〇成田現地集会に参加した中核派などの極左暴力集団としてデモ行進に移ると、数本の丸太を持つ集団を先頭に、炎びん、鉄パイプ、碎石等で武装した集団がこれに続き、三里塚交差点で警備部隊に襲いかかった。

中核派は、集会前から機関銃空港に突入せよ」と呼び掛けしており、ここに開港以来最も導入し、集団武装闘争が展開されたり。三里塚交差点は、極左暴力集団が投げる火炎びんでまたたく間に火の海となり、警備部隊は激しい投石を受けながらも必死で警備活動を行った。二十四人を含む公務執行妨害罪等で検挙したが、警察官に多数の負傷者がいた。極左暴力集団は、「東峰十字路事件」「渋谷暴動事件」等により、三里塚交差点付近の民家や商店のガラスが割れるなど、住民にも大きな被害が出た。

極左根絶のために、極左暴力集団最大の派閥である中核派は、「成田軍事部爆破事件」で「ゲリラ」事件を繰り返し敢行し、その方法も極めて凶悪化している。また、これまでに成田市に隣接して、自民党本部や空港公団ビル等に放火したりしている。

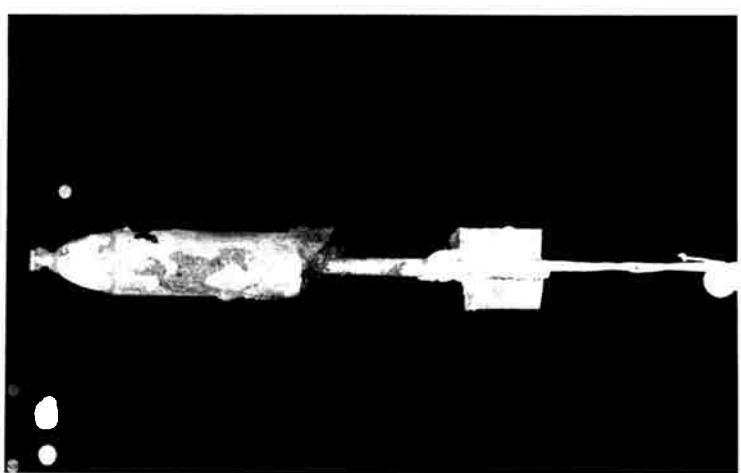
最近の顕著な特徴としては、空港建設に関係している県職員宅、運輸省職員宅、空港公団職員宅、建設業者宅等の個人住宅を時限式発火装置により焼き打ちする「テロ」とも言うべき「ゲリラ」事件を引き起こすようになってしまっている。これらは、一歩間違えば一家全員を焼殺しかねない危険極まりないので、人間性を全く喪失した極左暴力集団の特性を表している窓口といえる。

また、成田以外でも国鉄「分割・民営化」に反対して、動労千葉と共闘して国鉄の通信・信

号ケーブルを切断したり、国鉄浅草駅前で放火するなど、平穏な国民生活をも破壊してゐる。六一五年五月、警察厅は異例ともいえる長官通達を发出して、極左暴力集団を根絶するため、全国警察へ指示した。通達は①警察の総合力の發揮、②搜查追跡及体制の強化、③管内実態把握の徹底、④国民の理解と協力の確保から成つており、警察組織の総力を挙げて極左暴力集団の根絶に向けて対策、活動に当たらなければならぬとしている。

警察は、六一五年（昭和二年）一月一二日、宮城県喜多方市において、「圧力釜爆弾」二個を自動車で搬送中の中核派非公然活動家一人を逮捕し、爆弾等を押収した。さらには同日、爆弾製造の地下工場であつた盛岡アラモ堂を摘発し、中核派非公然活動家五人を逮捕し、「圧力釜爆弾」の部品や大量の火薬等を押収した。

この「圧力釜爆弾」は、圧力釜の中に約六キログラムの爆薬と鉛玉數十個を詰めて作られた



成田空港に向けて発射された“爆発物”

おり、しかも爆発と同時に

か用が経過したが、徐々に成りが表れつつある。

動から得た教訓を生かす道をと
らなればならぬ。それでま

うになっていた。

ところで、五三年五月二〇日に開港した成田空港は、現在に至る滑走路一本での運用を余儀なくされており、空港の早期完

警備力の強化、装備資器材の拡充、整備等が必要であり、また警備を行うための基本的的前提である警備を取り巻く環境を警備

責務を再認識 燃える機動隊

A black and white photograph capturing a scene from a low-angle perspective. In the foreground, the dark silhouette of bare tree branches stretches across the frame. Below them, a row of aircraft is parked on a flat, light-colored surface, likely a tarmac or runway. The aircraft are mostly dark-colored, though some appear lighter. One aircraft on the right has a prominent vertical stabilizer. The background is a bright, featureless sky, creating a strong contrast with the dark branches and aircraft.

うにならなかった。
幸ることで使用される前に「
然に防ぐ」ことができたが、も
との爆弾が成田地闘争で使
されたならば、多数の警察官
市民、マスコミ関係者等が大
な被害を受けたであろうこと
容易に推定できるわけであり、
それらを考えると愕然とする。
警察は、国民の皆様の御協助
をいただき、六〇年から六一
本までの二年間に、一九の非
然アシトを摘発し、一、一〇〇
人（うち非公然活動家三七人）
を検挙した。極左暴力集団根拠
のための対策を始めてから約

ところで、五三年五月（一〇日）に開港した成田空港は、現在にして最も早くされており、空港の早期化を望む國民の声は日増しに強くなつてきている。しかし、それに伴う問題が現れてきたのである。そのためには警備上の大きな問題點を越えなければならない。

成田空港を完成させるための警備上の問題は、現飛行場の運行実績の安全を守るながら、一期工事の警備の万全をも期さなければならぬ点にある。

一〇年間にわたる成田警備では、警察官をはじめ市民等による大きな犠牲が出ており、一期工事の警備では、これらの警備費は、

警備力の強化、装備資器材の拡充、整備等が必要であり、またその警備を行なうための環境的整備である警備を取り巻く環境整備あることが非常に重要である。ともあれ、成田空港建設反対闘争を最大の闘争課題と位置付けている中核派が「圧力釜爆弾」を開発したこととは、今後も殺人行為を辞さない、大量殺人の闘争方針を持つたということであり、更に警戒が必要になつてしまっている。

大内俊司	東鋼業(株)	(学)嘉悦学園	亨和興業(株)	高周波熱鍊(株)	光洋商事(株)	高周波熱鍊(株)	周東商会	杉尾榮俊	スカイコート(株)	姫田清美	西戸榮一	高島浩一	野口直志	加納保成	松田鉄鋼(株)	広島シャーリング工業㈱	藤田金属(株)	北越メタル(株)	豊鋼材工業(株)	北海鋼機(株)
------	--------	---------	---------	----------	---------	----------	------	------	-----------	------	------	------	------	------	---------	-------------	---------	----------	----------	---------

今月の言葉

社会道德や学校教育の乱れの問題が出てたひに、最近の家庭での子供の躾がよくないといふことが話題になる。

確かに昔は、一家の長たる父親の威厳と母親の優しさが組み合わされて家庭での躾がよく行われていたと思う。戦前の学校教育は厳格でつたし、又、経済的には現在よりはるかにレベルが低く大変な時代であったが、別々意味で個人生活はできていたとと思う。

今日、豊かな社会となり物質的に恵まれ何不自由ない時代になつてはるが、何か心せわしく、父親は会社の面からみると甘やかされた人達が多くなつてゐるようだと思ふ。子供は親を見て育つと言われている通り、親がいい加減な事ををしていて口先ばかりで子供の躾をやがましく言つてもはじまらないのであって、家庭内

長野県警察本部警備課機動隊
関東管区代表

航機墜落現場に出動、小柄な体で大きな闘志を秘めて活動隊の小さな重戦車

想定した高所訓練で、高さ40㍍に対する恐怖で体が動かなくなってしまった。そこで、潜水訓練では、深さ40㍍のまっ暗な水中で呼吸がうまくできず、溺れかけたことが何度もあり、仕事に対する不安や気持ちが漸くついていた時です。

危険な災害現場で常に先頭に立つて活動している先輩が「俺

その時、「何か動いたぞ」と言う先輩の叫び声に、私はと音を立て、まるで五〇〇人ほどの光景に私はただ茫然と立ちこんでしまいました。まさに地獄です。

私とて同じです。
しかし、あの尾高の尾根
背中に感じた命の重さ、その
命を一つでも多く救うため
救助活動に私はこの命をかけ
人生の機微に触れて

十月二十日、備中に鉄バイ専用の車で、おれ意識を失いました。が解ければ」ていたところ、「宮川さんは半年以上入院、養しないと駄目でしたのです。

「ですよ」と言わ

とよしのそ入を

この二つは、私自身そういうのが、「幸福や健康」というものかや空気のようを感じてゐる。世の中には、多くの人が失った幸福や健康といふものを取り戻すために精神的に色々と肉体的に、日々病気や怪我を闘っている人々が沢山いる」

札幌方面小樽警察署外勤係
融和團結について
体験を財産として、再び制服袖に手を通すことができる喜びを深く感じ、人々が平和で安樂をして暮らせる世の中をつくりたために、街頭に立ち、一層の努力と精進をする覚悟です。

全国青年警察職員意見發表會

誇りと使命感

はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

キュー隊員がやらなければ誰やるんだ。俺達しかいないじゃないか」と話してくれたその言に、私は「そうか、先輩がいたからいいんだ。それで張つていいんだ。でもそりゃならなければ、よし。そのためには訓練しかない」と心に決め、恐怖心を拭い去るために激しい訓練も歯をくし

界にそれで人が生きていふ
そんな感動に目頭が熱くなり
を感じながらも、「もう大丈夫
だ」と抱き起こそうと手をさし
出したその時です。血だらけの
女性が私の腕にしがみついてき
たのです。
死に直面した人の「助かりた
い」という一念からの行動に、
肝をぬかれ思わず手を離して

一昨年の「10・20成田事件」で脳挫傷といふ瀕死の重傷を負つたが、柔道で鍛えぬかれた強靭な気力と体力そして持前の明るさで七ヶ月月の闘病生活を見克服した。現在は、夜間大学に通う多才な運動員。ある日、目を見ると、私は真白いベッドに横になつておりま

私にとってその言葉は、田舎で前に立ちふさがるとてもなく高く大きな山のように思えました。しかし私は、闘病生活の過程中で、この山を一步一步間をかけて登つていくしかないと悟ったのです。

—警察庁イラスト
コンクール作品から—

読者の広場

熟年と健康



瀧上俊一

最近街を歩く人に、年配者が特に目につく様になった。長寿日本を象徴する顕著な現象なのであらうが、とにかく目に多くの程多くなつた。

大半の人々は定職を持たないのかと思うが、職を持つ人は何となく街に出て車もないで朝夕の通勤電車等に年配者が増えて、各車輌のシルバーシートも、該当者多数で余り効果を發揮しているとも思えぬ。朝夕の通勤電車等に年配者が席を占めている事も、再々見受けられる。

熟年とか、実年とか呼び方に気配りをするのは結構であるが、呼称よりも如何に充実した生活が確保されているかが肝要であろう。

円高による不況に喘ぐ業種や、経済新興國の追い上げで業務者が街に溢れるなど、毎日仕事を持つて生きる事から便益の失折柄、中高年の就業は愈々厳しい事自体が、充実した日々を過す事であり、心身共に健康で生きられる要素にならう。

朝起き出してから今日一日何をする當てもない様ではありに淋しいし、毎日仕事を持つている事自体が、充実した日々を過す事であり、心身共に健康で生きられる要素にならう。

機動隊の皆様、日夜御苦労様でございます。心から感謝申上げます。さて、「四月馬鹿」にちなんで、「馬鹿々しいお咲」と「何々学入門」と題をつけたところがみそ。

英会話入門の咲



田です。

(第1ページより続く)

敵なし真夏の直射日光との戦い。

そして空には、乾いたジェットの音が響いている。ここは、成田です。

諸学入門の咲

赤木郷八郎



アメリカへ旅行した日本人が、

ボストン行きの切符を買おうと、

「ボストン行き」のつもりで、

「ツウ・ボストン」という、

切符一枚できました。」「さ

行き」というのは、「ツウ」で

はなく「フォー」だったと思ひ

だし、「フォー・ボストン」と

いうと、切符が四枚できました

いた。困った日本人が、

「ボストン行き」のつもりで、

「ツウ・ボストン」という、

切符一枚できました。」「さ

行き」というのは、「ツウ」で

はなく「フォー」だったと思ひ

だし、「フォー・ボストン」と

今月の言葉

がもしやらぬ追いつき追つ越せて
本当に西欧先進諸国を部分的にせよ
追い越しかつてゐる昨今、周囲か
見られる目のあまりの冷たさに内
心驚いてゐるといふのが日本人の
普通的な感覚であろうか。日本人の
暗殺の第一報は船便で届いたとい
われる時代はともかく、世界中の情
報網が完備してゐる今、私達は相互
に必要な知識を持ち合ひ理解し合え

世の樂園かと思わせるような觀光地である。そこでこの國にしては自國の恥部を示す伝されでは困るのかも知れないが、日本のマスコミは、一度世界各國のスラム街の特集でもやつてみてはどうか。戦場と同様、命だけのうだらうか。

言葉に新しい街振り運動が盛んだが、国際化ということが何となく安易に、「一つのアーチャンヨン」として危惧を禁じえない。单一民族である日本人同志でも、内と外の感覚はしっかりと根づいているし、新たな国際化は身の廻りに諸々

何となく街が活性化されると、いかに安易な接待でしか考えていないのか、日本の方がまだいたりなんかねらいの問題にはなりません。己を見、他者と冷静に比較すれば、今私は達が守らねばならぬのは、日本人の伝統的な勤勉さであり、心であり。

機動隊の訓練成果に都民が理解と信頼

下は4月に実施された婦人警察官特別機動隊10周年記念査閲

第11回 通常総会 並びに懇親会

大盛況

励ましの輪一段と充実



はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

実を結んできた
励ます会

己亥年九月廿二日

卷之三

1

卷之三

機動隊員等を励ます会が社団法人の衣替えし、からの第十一回通常総会並びに懇親会が六月十一日、東京半蔵門会館で盛大に開催された。厳しく警備情勢のなかで頼もしい機動隊が治安の中枢となつてゐるが、平和と秩序の維持を祈求する国民の願いは、この素晴らしい若者集団を励ます輪の強化・拡充に一段と熱が入る。

実を結んできた
励ます会

たちが次々と誕生し、当励ます会がさらに大きく、大きめ引きがれていくことが全面的に期

功績者四氏を表彰

警視庁機動隊創設三十九周年記念觀閱式

警視庁機動隊創設三十九周年記念觀閱式

治安警備の中核として信頼される警視庁機動隊が創設三十九周年を迎えた。昭和二十三年に機動性をもつた集団警備部隊として発足、その後数次の組織改正を経て現在の十個隊となつてゐる。

より信頼されるためにより逞しい機動隊を目指していくこととを目的とした記念観閲式が去る五月二十六日午前七時から東京市内神宮絵画館前で行われ、鎌倉安委員長や各關係筋、勧ます会世話人が多数招かれた。

一般部隊、特別機動隊、治安警備部隊、重防、特科部隊などに統じて車両、警備隊、それぞれ青空の下をヘリコプターと一緒に大行進。隊員たちの元気はつらつと氣氛に満ちた勇姿に參觀者一同は意を強くし、惜しまぬ声援を送るばかりだ。

倉監視総監を観音院に、東京公安委員長や各關係筋、励ます会話が多數招かれた。

隊員と国民のかけ橋に

た。 て いる」と それぞれ 祝辞を述べ
た。

魅力ある機動隊

警視庁機動隊



答える。訓練と実戦で鍛えぬかれている、目標に向かって燃えている男は、目が輝き、身も心も引き締まっているというわけだが、ここは人生修業の場でもある。生きようも自らの限界を求めてそれそれが青春を完全燃焼させている。

連日遅夜の警備を終え、自宅に帰る電車の中で、ご婦人、学生を横目にし、偶然空いた席を確保し居眠りを始める。ふと窓外の景色がいつもと違うのに気づき「しまった、また乗り越えた」と机動隊員なら誰でもこのようない経験が、二度や三度はあるだろう。しかし、そのような時でも帰宅し湯気が立ち込める湯舟にザブーンとつかると、全身の毛穴からシャーー音を立て疲れが抜けいくよな気をする。そんな時、私はテレビでお馴染みの「鬼畜權三」にならぬが好きである。気さくで、照れ屋で、憎めない明るい性格。

機動隊員の魅力は、先に述べた機動隊員は、実際に行動する力である。彼らは、鬼畜權三のキャラクターが好きである。気さくで、照れ屋で、憎めない明るい性格。

若さと行動力

一機 須藤 賢二

そして何よりも彼のもつ下町気質、職人気質が魅力だ。

昨年の流行語に、この鬼畜氣質の「冗談じゃねえよ」があつた。机動隊員の間で何度もこの言葉が飛びかった。確かに昨年中は、我々機動隊員にとって極めて多忙な年であり、明日の勤務連絡を、ピクピクしながら待つたものである。

厳しく過酷な勤務連絡が入った時など、机動隊員は誰でもこのようない経験がある。二度や三度はあるだろう。しかし、そのような時でも帰宅し湯気が立ち込める湯舟にザブーンとつかると、全身の毛穴からシャーー音を立て疲れが抜けいくよな気をする。そんな時、私はテレビでお馴染みの「鬼畜權三」にならぬが好きである。気さくで、照れ屋で、憎めない明るい性格。

機動隊といえど、大方の人が素晴らしい若者の集団と答える。訓練と実戦で鍛えぬかれている、目標に向かって燃えている男は、目が輝き、身も心も引き締まっている。この先程の立派な姿など他の人がどのようなべきである。不可能にしてしまう若い力、これが機動隊の魅力であり、警視庁を支えているのは、この若い力なんだ、常々思うのである。

そして出発時間の五分前、全員が隊庭に整然と整列している。その一人ひとりの顔に元気がみなぎり、先程の立派な姿など他の人とのようである。不可能にしてしまう若い力、これが機動隊の魅力であり、警視庁を支えているのは、この若い力なんだ、常々思うのである。

（分隊長）嬉し涙に接して
二機 北原 敏男

私は、桜の咲き乱れる昭和五十九年春と希望を胸に歩む。

一機 須藤 賢二

左もわからなかつた私たつたが、

過去三年間振り返ると、水難救助活動においていろいろな

二機 北原 敏男

ようになつた。

私は、桜の咲き乱れる昭和五十九年春と希望を胸に歩む。

左もわからなかつた私たつたが、

過去三年間振り返ると、水難救助活動においていろいろな

二機 北原 敏男

ようになつた。

私は、桜の咲き乱れる昭和五十九年春と希望を胸に歩む。

左もわからなかつた私たつたが、

過去三年間振り返ると、水難救助活動においていろいろな

二機 北原 敏男

ようになつた。

私は、桜の咲き乱れる昭和五十九年春と希望を胸に歩む。

左もわからなかつた私たつたが、

過去三年間振り返ると、水難救助活動においていろいろな

二機 北原 敏男

のようになつた。

私は、桜の咲き乱れる昭和五十九年春と希望を胸に歩む。

そのためには、己の目標に向かって、日々精進を重ねていくことが不可欠である。こうすることで、はじめて後輩に対する良き見本を示すことができる。私は、燃えたきる情熱で後輩のけん引車になりたい。

機動隊は同一世代の団体である。その中で、お互いに切磋琢磨しながら自分の人間性を高めていく職場である。一人ひとりが青春を完全燃焼させ、自らの可能性を求める男の職場である。今ここで、喜びや生甲斐を持つかどうかが、その後の人生を左右する。私は、ここで自分の可能性に挑戦し、自分自身の進むべき方向を見い出すことこそ、世界一の機動隊を支える基幹員員のとるべき道であると確信している。

見ることがあると思うが、見えるところでは雲泥の差があり、私もこんなに厳しく辛いものと私は知らなかつた。非番・週休で棒をつけて、土俵の上で先輩に抱き砂を食わされ、活を入れらるながら稽古をしていると、時々生きているのがいやになる位を生きてしまつた。しかし、どんなに厳しくても稽古が終り汗を流した後の爽快さは他の何物にも代えがたいものがある。さて冗談を言いたがら風呂に入る、心身ともに最高の気分だ。これこそ男と男、裸と裸の付き合いでである。

機動隊つて何だらうか。若熱にあふれ、首都治安維持法として都民が最も期待してゐる機動隊に入隊を希望する者の標はそれぞれ異なるが、われわれ武道小隊員は、柔剣道助教をみると「武士」達で、その目的現のため出動前の朝稽古、非現の稽古と常に道場へ足を運びを流していく。また年一回の運動隊対抗試合、そして団体競技大会の優勝を目指して、中間選手として稽古に励んでゐる。

夏の猛暑で蒸し返る道場の上で、汗を飛び散らせての稽古は厳寒の冬空にまたたく星を眺み出勤し、足のヒビ割れにきながらの寒い早朝稽古等、いわば常識である。

そんな中にても家族を混じえてクリスマスパーティー、桜散下での大宴会・釣り大会、バ

送員大とくの魅力は
一、常に警備現場の第一線に立つことができ「首都の治安は我々が護っているんだ」という誇りと使命感が自然にわいてきた。
二、機動隊は若さと熱氣あるれる男の集団であり、各自が目標をみえ目結しながら互いに切磋琢磨しあう場所であり、白らを競うことができた。
三、隊内では、昇任試験にかけての隊内模擬試験や中隊ごとに独自で試験等を実施し、また昇任試験対策委員会を設けて勉強の仕方から各課題のポイントに至るまで、詳細に説明しあった。材料を配布するなど、隊全体が昇任試験に向けて一休となつていた。されば昇任試験合格への意欲が高めてきたといふことである。
機動隊という、この意味がある環境でどのくらいの能力を見いだせるか、あるいはいかにこそ、

機動隊は我が警視庁の要であり、大警備にあつては、我々が出动せざして万全は期しえないのである。また、警備実施の適否のいかんは、国際関係にも重大な影響を及ぼしかねない。このよのうを尊重する職務に携わりつゝ日々を過ごせるに心は心のはりと誇りを覚えずにはいられない。

我々の日常勤務は「忍の警備」といわれる重防警備が大きな比重を占めている。重防警備は単調な勤務であるが、重防警備の成否が国家の存亡を左右するとても過言ではない。私は、このような重要な任務を自らが携わつることにプライドを持ち、諸先輩が残した輝かしい伝統を引き継ぐべく、毎日の勤務に全力を尽し、思い出多い機動隊生活を送りたいと考えてい

さ等、良き伝統が受け継がれてゐる。警視庁機動隊が、今や世界に冠たる機動隊と言われるまでに成長した陰には、幾多の牛糞の血と汗と涙があつたことによると、我々機動隊員は瞬時も忘れる事はない。**（警視庁機動隊員の一員として、先輩から引き継ぎ、更に新しい一ページに我々の足跡を残せるようにお互いに励ます）** あつて頑張りたい。

また、我々が最も自慢できるものとして、両国技館の土俵にかけしてひけをとらない、立派な土俵が第八機動隊にある。この土俵は、我々相撲小隊員が一丸となつて汗水を流し、週休日を非番を利用して作り上げたのである。自分たちで作った土俵の上で相撲をする、こんなを尊い高のことではない。どんなに厳しく辛い稽古をしても苦しむがなくなくなってしまう。

機動隊に見附しなければ、今のような気持ちを味わうことはできなかつたと思う。立派な土俵の上で汗と涙を流し、日々の厳しく辛い稽古を通して生まれる連帯感と同僚愛は、機動隊を支えるのは魅力だ。

各隊には、それぞれに誇りを持てるスポーツ小隊がある。私は、そのスポーツ小隊員として今まで培ってきた気力・体力・忍耐力を、これから的主要警備

ベキュー等楽しい一時を過ご
こともある。
私は看隊として三年半になる
これまでの機動隊生活の中で
一番嬉しかったことは、昨年の
課隊対抗の剣道優勝である。
これまで毎年苦戦を強いられ
ながら、それがむくわれず
一步で涙をのんで来た。「勝敗
は勝たなければ意味がない」
先生から言われ続けた三年目。
やっと勝利を手にすることが
来た。「優勝」という二文字を
それまでの苦しさを何十倍も
喜びに変えてくれた。それは
次の大会への大きな自信につ
ながり「機動隊に来てよかつ
とつくづく感じた。
もう一つの嬉しさは、多く
人と知り合い、所轄署では考
られないほど友達を得、交友
じきの飯を食べ、共に同じ四百
に向かって汗や涙を流し、酒
酌み交わしているうちに、言

機動隊は人間修業の場であるとも言われている。更に、勉学や各種技能の取得には最適の環境で、その中でたとえ漫談日々を過ごすのではなく、与えられたチャンスを活かし、設定した目標を必ず達成することが大切であると肝に銘している。

八 横
張 伸 一 自
昭和六十年十月に第1回機動隊として、
着隊して以来、日々の重要な備えを
準備してきました。そして、相撲小隊長として毎日厳しい訓練をしてきました。
古に勵んでいる。

に發揮し、不法事案に敢然として臨み、これに立ち向かう警察官としての使命感と立ち向かう気持ち、努力精進していく決意である。

には出さなくてはお互いの反感がちが分るようになつて来る。それこそが機動隊の团结力の源である。

勢でか隊でこ持

ケリラを探せ 極左暴力団
警察庁イラスト・コンクール作品から



サウジアラビア王国ナーアイフ殿下一行が警視庁第一機動隊と特車の訓練実施を视察

今月の言葉

世界の中の日本が問題になつてゐる折から、最近ある雑誌で「不思議国ニッポン」という、日本に暮らす外国人女性の眼から見た感想文を興味深く読みました。

紅茶の普及のために来日した、あれどもソーラーインド人女性の話ですが、「日本人は電車で歩いていた」というふうな自然分からなかつたので、何日もソーラーと親密したらやつと理解できただ。居眠りをしているのに、自分の降り

よく働きよく遊ぶ

る駅になると、バッと目を覚まして「大変な問題になつていています」と、大変な問題になつていています。しかし、私はここで慎重に考えな

ダダダッと降りていくのも、大変不思議だそうです。インド人は、こういふことは絶対できません。

日本人は、勤勉、敏捷、器用なんですね。ところが最近の情勢を見て、私は古くからある言葉、「よく働きよく遊び」という精神でやる必要があると思います。勤勉さは失われないで、もう少し、遊びの方にもウエートをかけるということです。世界一豊かな国になつたのですから

日本は成り立つていかなることよりも確かです。こちらの言い分も沢山あります。余暇時間が増えてしまってレジャーを楽しむ、物を消費する。経済の究極の目的は個人の幸福を増進すること

志を共にする集い

中国・千葉・九州

中国支部総会

極左暴力集団は秋に予定されている天皇陛下の沖縄行幸に対し「天皇訪沖阻止」を呼んでいます。「成田二期工事」も引き続き階級闘争として位置づけており、テロ型無差別ゲリラの敵行為が懸念される一方、右翼は内

外の諸問題に危機感を強めて関係要人にに対する直接行動が危惧される。こうした情勢下で、治安維持は中核部隊としての機動隊に全面的に寄せられるが、国民としては平和な生活を送れるよう、機動隊員等を励ます輪を充実拡大していくばかりである。

中國支部総会の音頭をきつかけに懇親パーティー

東京本部と八つの支部を持つ当励ます会は、六月から七月にかけて三支部の支部総会並びに懇親会がそれぞれ開催された。折目正しい若者集団を招いての交流は、いずれも大盛況であった。

励ます会の充実へ

中國支部総会は六月十九日十七時三分より広島県社会福祉会館で開かれました。中国管区と広島県警機動隊員等約三百三十名を招き、会員含めて約三百名の集いであります。

石田武・中國支部世話人の開会の辞で始まつた式次第は、励ます会から柳本武一・中國支部長と大内俊司・名譽理事長が力強く励ます会の支援に感謝すると同時に、今後とも治安維持に万全を期していく」と挨拶しました。

木村政次・大阪支部長の乾杯の音頭をきつかけに懇親パーティ

二支部で励ましの輪



発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
丁104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

千葉支部総会

に移り、会は最高に盛りあつた。
當励ます会支部のなかで最も若い千葉支部も第7回の支部総会を六月三日十六時より千葉グランドホテルで開いた。

開会の辞、国歌斉唱で始まり小川郁雄・千葉支部長が歓迎の挨拶、鈴木實・励ます会理事長が激励の挨拶をした。内外情勢が激変した。内外情勢

平允夫・千葉市助役がそれぞれ祝辭を述べ、千葉支部長から空警一機隊長へ記念品が贈呈された。篠崎暁介・空警隊隊長が「

は厳しいが、とくに千葉県は

田空港を抱えてこの二期工事を巡って極左ダブループが不穏な動きを見せていくだけに、機動隊の任務はそれだけに重みを増していく。

また、これからも当励ます会の参加について広範囲を呼びかけます」と方針となつていています。

飯田正輝・世話人の司会で始まつた式次第は、まず自見真清・九州支部長が隊員の頃の苦労を謝すとともに引き続き激励ましていくと挨拶。東京から出席した鈴木實・理事長が力強く隊員達を励ました。

来賓として木村武・九州管区警察局長と鳴海国博・福岡県警察本部長が異口同音に、厳しい警備情勢に対処して怠りなく警備体制を強化して国民の期待と信頼に応えていく決意のほどを語った。

社団法人機動隊員等を励ます会 第7回 千葉支部総会



第十三回九州支部総会は七月二日十七時より福岡市八仙閣で催された。機動隊員と会員による熱気で、会場は夏本番という期待に応えていく」と謝辞。菅浦一・支部世話人が音頭をとつて乾杯、懇親会に入り、最後は曾根良雄・千葉副支部長発声による万歳三唱で幕を閉じた。

九州支部総会



第13回 勤隊員等を励ます会九州支部総会

同支部は、支部の中でも大阪支部の四十九年十一月創設に次ぐ歴史を持つが、すでに地域の警察活動、とりわけ機動隊員等の大規模な支援をして実績を有している。また、これからも当励ます会の参加について広範囲を呼びかけます」と方針となつていています。

飯田正輝・世話人の司会で始まつた式次第は、まず自見真清・九州支部長が隊員の頃の苦労を謝すとともに引き続き激励ましていくと挨拶。東京から出席した鈴木實・理事長が力強く隊員達を励ました。

来賓として木村武・九州管区警察局長と鳴海国博・福岡県警察本部長が異口同音に、厳しい警備情勢に対処して怠りなく警備体制を強化して国民の期待と信頼に応えていく決意のほどを語った。

木村政次・大阪支部長が乾杯され、山本哲夫・世話人が隊員と会員の心の交流は大きく高まり、山本哲夫・世話人が「隊員と会員の心の交流は大きくなる」と述べた。同様の感想を述べた。

しかし、日本の国の条件を考えると、今後もよく働くということは、絶対忘れてはいけないと思います。日本の現在の繁栄、平和、安全、すべて大勢の人々の血のにじむような働きによって支えられているのです。怠慢、遊びの坂道を切り始めたら、こうげ落ちるのはあつとと言う間です。

現在すでに一部そいうい兆候が見えているのではないかといふのです。矢張り、「よく働きよく遊び」という精神でやつていくこと、これで忘れてはならないと思います。

新風を吹き込め 警視庁機動隊

私の一機 宮田肇

テロ、グリラ事件等が警戒されている厳しい情勢の中、機動隊に着隊。自分にとってまさに成しようとする決意している。

第一回実戦試験の合格。この未まれた時期に自分で努力し目標達成する工夫をしたい。いつも自分自身が隊長となり指揮棒を握つて部隊を動かしてみたい。私は一機五中隊員として、警備現場で、中隊長が指揮棒一つで部隊を自由に動かすことを見て、男なら一度はやつみたいと思った。

第一回は「身の鍛錬」。機動隊は、訓練要領等をはじめとして、厳しく訓練が続けられ、一日がとても長く感じられた。夕方にはぐつたりと疲れてしまい、これからも警察人生を考え、どうなに辛苦しい新隊員訓練で、青春の一ページだと言ひ聞かせてやりきった。この中で私は、機動隊生活において三つの目標を選んだ。

訓練では、大橋操法や遊撃部隊による敵襲等をはじめとして、一日も早く一人前の機動隊員になるよう、新隊員訓練では体力・精神力の限界に挑戦した一週間だった。

第一回は「身の鍛錬」。機動隊は、訓練要領等をはじめとして、厳しく訓練が続けられ、一日がとても長く感じられた。夕方にはぐつたりと疲れてしまい、これからの警察人生を考え、どうなに辛苦しい新隊員訓練で、青春の一ページだと言ひ聞かせてやりきった。この中で私は、機動隊生活において三つの目標を選んだ。

私はこの度、伝統ある第三機動隊に入隊し、再び機動隊で勤務できる機会を得て大変感激した。特に機動隊は、集団警備を行便するところ。新隊員である私は、声を出すことによって、未熟な私は元気な声を出してしまった。また、元気な挨拶も、心身の鍛錬に努めていた。

私は小学生当時から町道で剣道を始めた。苦しい稽古で、何度も倒れても、それでも同じことが言えるのはないだろうか。自分に負け、惰性のペースだと言ひ聞かせてやりきった。この中で私は、機動隊生活において三つの目標を選んだ。

私はこの度、伝統ある第三機動隊に入隊し、再び機動隊で勤務できる機会を得て大変感激した。特に機動隊は、集団警備を行便するところ。新隊員である私は、声を出すことによって、未熟な私は元気な声を出してしまった。また、元気な挨拶も、心身の鍛錬に努めていた。

私は小学生当時から町道で剣道を始めた。苦しい稽古で、何度も倒れても、それでも同じことが言えるのはないだろうか。自分に負け、惰性のペースだと言ひ聞かせてやりきった。この中で私は、機動隊生活において三つの目標を選んだ。

今年もまた新隊員を迎えた。希望と不安が入りまじった気持で着隊された新人が多いが、一日も早く一人前の機動隊員になれるよう個々が決意している。先輩が守り抜いてきた輝かしい機動隊を継承するのみならず、新風を吹き込むことによって、機動隊はさらに強く逞しくなっていく。青春は単なる人生の花盛りではなく、来たるべき結実の秋の準備の季節である。大望を胸に着実な積み重ねが期待されている。

二機 桜舞い散る中、私はこの墨田の地にある第三機動隊に入隊した。未知の部署署め期待を胸にいたずら半面、不安な気持ちであった。しかし、この厳しい訓練も、技術係の方々はじめ、諸先輩方の厳しさの中にも人間味あふれる温かいご指導と着隊員の仲間の励ましがあったおかげで、なんとか無事終えることができた。

第一回機動隊の伝統、機動隊の技術は、私は何よりもが目新しく、人生の節目にふさわしいような、何やら心底から熱いものが感じられた。機動隊に入隊したことでの心の中に新風が吹き込まれたのである。

そこで今度は、私が逆に隊に對して何かの活力源になる、新風を吹き込んで次の事を実践しようと考えている。

一、常に元気を送り、心掛ける慣れてくると少しすつ剛毅な接対となる。特に機動隊は、集団警備を行便するところ。新隊員である私は元気な声を出してしまった。また、元気な挨拶も、心身の鍛錬に努めていた。

私はこの度、伝統ある第三機動隊に入隊し、再び機動隊で勤務できる機会を得て大変感激した。特に機動隊は、集団警備を行便するところ。新隊員である私は元気な声を出してしまった。また、元気な挨拶も、心身の鍛錬に努めていた。

私はこの度、伝統ある第三機動隊に入隊し、再び機動隊で勤務できる機会を得て大変感激した。特に機動隊は、集団警備を行便するところ。新隊員である私は元気な声を出してしまった。また、元気な挨拶も、心身の鍛錬に努めていた。

二機 キビキビした隊員

三機 人間誰しも自分自身が可愛いもので、自分が苦しくなると樂観的で、逃げ、自分を甘やかす傾向が多分にである。しかし、そのために、自分が選んだ道で、自分が苦しくなると樂観的で、逃げ、自分を甘やかす傾向が多分にである。

四機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

五機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

六機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

七機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

八機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

九機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、



入隊直後の隊長訓育に「任地にはれ」という言葉があった。私はその言葉が廣く多くのである。自分の視野を広げることのできる機会である。

私はこの度、伝統ある第三機動隊に入隊し、再び機動隊で勤務できる機会を得て大変感激した。特に機動隊は、集団警備を行便するところ。新隊員である私は元気な声を出してしまった。また、元気な挨拶も、心身の鍛錬に努めていた。

私はこの度、伝統ある第三機動隊に入隊し、再び機動隊で勤務できる機会を得て大変感激した。特に機動隊は、集団警備を行便するところ。新隊員である私は元気な声を出してしまった。また、元気な挨拶も、心身の鍛錬に努めていた。

私はこの度、伝統ある第三機動隊に入隊し、再び機動隊で勤務できる機会を得て大変感激した。特に機動隊は、集団警備を行便するところ。新隊員である私は元気な声を出してしまった。また、元気な挨拶も、心身の鍛錬に努めていた。

十一機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十二機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十三機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十四機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十五機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十六機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十七機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十八機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

十九機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

二十機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

二十一機 重防備等で忙しい毎日なので、訓練する時間も制約されるが、短時間で効果のあがる工夫を練らし、氣力・体力・智力の向上を図る訓練をやりたい。また、

警察官は、気力・体力の鍛磨が要だ。凶悪犯人と出会った時、自分に自信が持てなかつた組織が成り立つていくには、良好な信頼関係、いわゆる「絆」が必要であると思ふ。特に機動隊は隊員活動であり、隊員一人ひとりが手を取り合い、助けあつて治安維持にあたることこそがその任務である。まだ新隊員でわからぬことはばかりだが、幹部・先輩の御指導を仰ぎながら強い糸を繋ぎあけるように努力し、早く一人前の機動隊員になりたい。

最後に、舟川隊長が言われた「機動隊とは正義のために血を流す男の集団である」という言葉をはつて日本の治安を護る者は我ら機動隊だ。本当の、眞の男の仕事だと思う。この三つの目標を忘れては精進し、第六機動隊員としての誇りを胸に精一杯努力し、目標を達成していく覚悟だ。(中隊員)

使命に徹する

七機 黒木和夫

「第七機動隊勤務を命ずる」の辞令を受け、一年三ヶ月の短かい期間ではあったが、苦楽を共にした同僚の暖かい拍手に送られ、一路、七機に向つた。中央高速を走り、通称「七機坂」を下ると懐かしい第七機動隊舎の勇姿を見え、「帰つて来たぞ!!」と思わず心中で叫んだ。一度ならずと一度でも機動隊の魅力にひかれ、今度は、分隊長として機動隊に勤務できることが幸せに思つてゐる。今年の重要な備はひとつである「国鉄分割民営化」は無事達成されたが、秋にかけて「天皇陛下沖縄行幸」と「成田一期工

警察官は、気力・体力の鍛磨が要だ。凶悪犯人と出会つた時、自分に自信が持てなかつた組織が成り立つていくには、良好な信頼関係、いわゆる「絆」が必要であると思ふ。特に機動隊は隊員活動であり、隊員一人ひとりが手を取り合い、助けあつて治安維持にあたることこそがその任務である。まだ新隊員でわからぬことはばかりだが、幹部・先輩の御指導を仰ぎながら強い糸を繋ぎあけるように努力し、早く一人前の機動隊員になりたい。

最後に、舟川隊長が言われた「機動隊とは正義のために血を流す男の集団である」という言葉をはつて日本の治安を護る者は我ら機動隊だ。本当の、眞の男の仕事だと思う。この三つの目標を忘れては精進し、第六機動隊員としての誇りを胸に精一杯努力し、目標を達成していく覚悟だ。(中隊員)

警察官は、気力・体力の鍛磨が要だ。凶悪犯人と出会つた時、自分に自信が持てなかつた組織が成り立つていくには、良好な信頼関係、いわゆる「絆」が必要であると思ふ。特に機動隊は隊員活動であり、隊員一人ひとりが手を取り合い、助けあつて治安維持にあたることこそがその任務である。まだ新隊員でわからぬことはばかりだが、幹部・先輩の御指導を仰ぎながら強い糸を繋ぎあけるように努力し、早く一人前の機動隊員になりたい。

最後に、舟川隊長が言われた「機動隊とは正義のために血を流す男の集団である」という言葉をはつて日本の治安を護る者は我ら機動隊だ。本当の、眞の男の仕事だと思う。この三つの目標を忘れては精進し、第六機動隊員としての誇りを胸に精一杯努力し、目標を達成していく覚悟だ。(中隊員)



三、物知り分隊長



熱狂的な阿波の力一二バル

徳島県警察本部教養課

私の故郷である、長崎県佐世

い。

ア波の殿様 蜂須賀侯が、

今にのせし 阿波おどり

毎年八月十二日から十五日ま

での四日間 徳島市内は、

阿波おどり見よう、踊りに参

ないよ訓練、スポーツに汗を

流し、勉学に努め、あらゆる

徳島市の人間文化財第一号を

贈られた林鼓浪という人だけ

が生きている。この阿波おどりを

ただひたすら「使命に徹する」を

掛けてしまいたい。

その二は、けじめのある生活

である。若者の流行語で精神的におかしくなつたことを「フット

ン」と言うのだそうである。記念日闘争間近の機動隊の勤務は、相当厳しいと聞いている。重防

警備は、一人の配備員のミスが原因で、その敗失につながる。記

念日闘争間近の機動隊の勤務は、

相当厳しくと聞いている。重防

警備は、一人の配備員のミスが原

因で、その敗失につながる。記

念日闘争間近の機動隊の勤務は、

相当厳しくと聞いている。重防

伊勢神宮「式年遷宮」
はまげ

今、伊勢神宮を参拝すると、神殿の敷地に並んで東側に同じ広さの空き地があります。この空き地に神殿を造営して、神様を遷すのを「式年遷宮」といいます。六年后の大八年（秋）には第六十一回式年遷宮を迎えます。

式年遷宮は二十年に一度、内官・外官を含め全ての社殿の建替えと併せて、國の若返りを祈願する一大祝典であります。室町末期の戦国時代に一時中断はありましたものの、第一回遷宮から一千三百余年の伝統を誇ります。

國家的大事業といふべきものになつております。

第六十回式年遷宮は、昭和六年五月の山口祭がその諸祭典のスタートであります。本年六月には、最もぎやかな行事とされている御木曳行事（おきひき）—造営の用材を、内宮は五十鉢（川曳し）、外宮は陸曳し、搬入しますが執り行なわれました。

又、六十四年十一月には、宇治橋渡式があり、宇治橋も一年毎に架えられ、古式による渡り始めがなされます。これらして昭和六十八年十月の御神樂まで、八年余の歳月をかけて、建物のほか中に納める神宝、装束類まですべて新しい材料を使い、これまでと同じ規格で、新調されるのです。

当社も幸いにして明治二十二



田君一家は戦前満州牡丹江に居

た。本題に戻しますと、時

く詳しく述べておけばよかつ

事で、私共同期生にとっては久留米のお姉さん同様、時田君の消息が分かるまでは戦後は終りません。

しかし、私たちが本当に望んでることは、機動隊の皆さんに、全ての心配を除いて頂くことが前提であることは言うまでもない。

それでも、目覚ましい働きを示し

て居られることを目の前にして

行動方正で然も健康体でなければ

読者の廣場

吉岡哲雄中隊員の父親

伊勢神宮「式年遷宮」

読者の廣場



岡 谷 篤

中国残留孤児が肉親を求めて来日する度に、テレビや新聞の報道を求めて思わず涙を流した経験は、どなたもお持ちのことと思います。

私は当時の満洲撫順市の生れで、その後ハルビン市にも二年半暮らしましたので、孤児たちが話す地名には知っているところが山あり、いつもひとことに思えない気持でテレビを見ております。

電話は飛びますが、昭和四十八年夏のある日、久留米の田中さんはいわど婦人が会社に尋ねてこられ、実弟時田定昇さんを探してほしいとの依頼がありました。

昭和十九年秋、戰局は日に日に日本の劣勢が深まり、いたたまれない気持で当時の満洲、朝鮮、関東州の各地から二千名の少年たちが、海軍甲種飛行予科練習生として、美保海軍航空隊（現在の米子空港）へ入隊しました。その中に、私も時田君も入っていたのですが、ちょうどその頃、全国に散在している同期生を探し出し、名簿を作ったり、会合を開こうという気運が盛り上がり、東京や大阪在住の数名の有志が、厚生省に赴き保管され、翌年五月の名簿を見出しあり、立派な名簿が出来上がつてしましました。

しかし朝鮮戦争のあと昭和三十年代に入ると、世の中は急速に安定し、豊かになり、安堵感が漂つたが、その中に時田君と同じ牡丹江の中学生から同期生を見つけだし、その中に時田君もいました。いつならぬは出生です。

学生時代を通じては、「治に居て乱を忘れず」などといふ言葉買ひ、太平洋戦争へと発展した。戦争が終つてからも、暫くは荒廃した状況で、大学の頃はまだ食糧も不足していたし、岩波の本を買ひ、酒を統制下にあった。いもうなれば出生です。

それからの私は、各新聞に書をして九州の同期生探しに熱心になりました。九州だけ六十人の同期生を見つけだし、その中に時田君もいました。しかし、その天下泰平も既に三十年を超えて三十五歳代以下の人のたちは、戦争もなく事件も犯罪も少ないので当たり前のことです。

いつ警察関係者の方々を持ちあけているわけではなく、事実、今や世界のどの国と比べても、日本の治安は誠に立派である。しかし、その天下泰平も既に三十五歳を超過して三十六歳代以下の人のたちは、戦争もなく事件も犯罪も少ないので当たり前のことです。

そこで、ウォーゲル氏の指摘するようなアメリカにも「治に居て乱を忘れず」に相当する格言に、つぎのようないふのがある。「平和のうちに、より烈しい戦争が潜んでいる。『風の次に嵐が来ることを念頭に置け』」

「治」は、国家の治安ばかりでなく、家庭内の生活でも、会社の仕事でも、大事な事柄であることは、保険会社のコマーチャルを持つまでもない。

さて、機動隊の皆さんは、さきにも申し上げた通り、その素晴らしさを世界に誇つてよいと思う。これは機動隊の皆さんと共に私たちの誇りである。そして私たちとは、成田空港事件や東京の治安を担当する警察官として、強靭な心と体を培うための厳しい訓練と教育をうかがい知りました。

また、校内におられた先輩方の規律正しい行動に、首都である東京の治安を担当する警察官として、強靭な心と体を育むための厳しい訓練と教育をうかがい知りました。

立派な職業に就くことが出来たのですから、自分の仕事が全うできるよう日頃から勉学、身体的鍛錬をお願い申し上げます。今後、皆様の益々のご活躍とご健闘をお祈り致します。

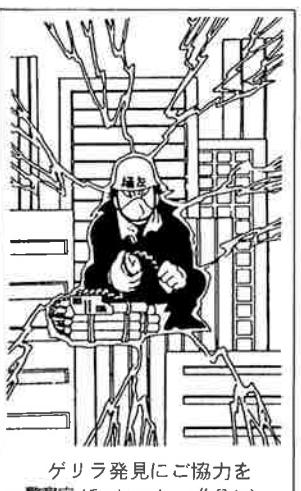
逆残留孤児

飯田正雄



乱を忘れず

中野龍二



ゲリラ発見に協力して
警察庁イラストコンクール作品から

息子をよろしく

吉岡清

吉岡清

さについて、国民が警察に対し協力的であることに注目してお

り、その協力的である理由は、

「警察官の質の高さ、職業意識、

義務感への献身ぶりが高く評価されていて」るからだといふ。

「はげまし」の原稿だからと

いつ警察関係者の方々を持ちあけているわけではなく、事

実、今や世界のどの国と比べても、日本の治安は誠に立派である。しかし、その天下泰平も既に三十五歳を超過して三十六歳代以下の人のたちは、戦争もなく事件も犯罪も少ないので当たり前のことです。

そこで、ウォーゲル氏の指

摘するようなアメリカにも「治

に居て乱を忘れず」に相当する

格言に、つぎのようないふのがある。「平和のうちに、より烈しい戦争が潜んでいる。『風の次に嵐が来ることを念頭に置け』」

「治」は、国家の治安ばかりでなく、家庭内の生活でも、会

社の仕事でも、大事な事柄であ

ることは、保険会社のコマーチ

ャルを持つまでもない。

さて、機動隊の皆さんは、さ

きにも申し上げた通り、その素

晴らしさを世界に誇つてよいと

思う。これは機動隊の皆さんと

共に私たちの誇りである。そ

して私たちとは、成田空港事件や

東京の治安を担当する警察官とし

て、強靭な心と体を育むための

厳しい訓練と教育をうかがい知

りました。

立派な職業に就くことが出来た

のですから、自分の仕事が全う

できるよう日頃から勉学、身

体的鍛錬をお願い申し上げます。

今後、皆様の益々のご活躍と

ご健闘をお祈り致します。

吉岡哲雄中隊員の父

事で、私共同期生にとっては久留米のお姉さん同様、時田君の消息が分かるまでは戦後は終りません。

満州で生れ満州で育ち、このままに逆残留孤児と申すべきであります。

しかし、私たちが本当に望んでることは、機動隊の皆さんに、全ての心配を除いて頂くことが前提であることは言うまでもない。

それでも、勿論本籍地にも照会したのですが一切連絡はないとの

た」との事です。

それ以来記事を求めては、何度か新聞の記事を書いてもらつたのですが杳として行方が分からいません。十五才といえはほんの子供で、本籍地から記憶していかつかのではないかと思われ、勿論本籍地にも照会しました。

直後の日本に放りだされ、肉親とも連絡のつかない時田定昇君、まさに逆残留孤児と申すべきであります。

それ以來毎日を送つて頂きました。は、是非足をのばし御参拝下さい。

しかし、私たちが本当に望んでることは、機動隊の皆さんに、全ての心配を除いて頂くため、より一層充実して頂くことが前提であることは言うまでもない。

今月の言葉

年も五十年が過ぎるようになる
と、時々「あなたのモットーは？」
などと聞かれることが多くなる。
ともと不器用なので、モットーとか、
人生観などつき詰めて考えたことは
ない。気の利いた返事ができなくて、
しばしば困惑するのが常である。そ
れでも最近は、一つだけ答えられる
ようになっている。それは「平明」であ
ること。

「なんだ、そんなことか」とい
うのもかもしれないが、「平明」であ
ることは意外と難しく、喝破した哲人もいるが
、ウォルデンの主人公のよう
に、一人で森の中に住んでいるのな
らぬ知らず、社会といふ人と人との
言い訳を積みあげてゆく。

平明であること

の関りあいの中で生活し、会社とい
う組織の中で仕事してゆく場合には、
「平明であること」とも違う。「單
純である」とはナイーブで、脆いような
感じがする。「平明」とは鍛えら
れた強靭なものを作っている。単純
でありながら、単純を超えたところ
に取締おうとする。そこに嘘が生ま
れる。嘘は嘘を増幅する。

のではないだろうか。本音を吐かず
眼を海外に向けて、「日本はア
ンフェアだ」と日本叩きがエスカ
レートしているが、これも自分の國
の内部事情に大きな原因があるよう
に思えてならない。勿論、それだか
ら日本は何もしなくていいというこ
とではない。本音を出し合ってお互
いに議論し、いい解決方法を見出
すことが必要なのではないだろうか。
勿論、私のモットーを人に押しつ
けるつもりはない。人の生き方は様
々である。様々であることが、むし
ろ自然なことだとと思う。私は私で、
「平明であること」を直面して貢いで
ゆきたいと思っている(佐々木喜朗)

婦人警察官特別機動隊

ソフトでスマートな対応

名実共に立派な機動隊
が、この中にもソフトでスマートな婦警特機な
らではの活躍は見逃せない。昭和五十二年四月十
三日に呱呱の声をあげた婦人警察官特別機動隊、
通称婦警特機も兎のマークと共に今年で満十歳
を迎えた。

機動隊といえば「男の集団」を思い浮かべる
が、この中にもソフトでスマートな婦警特機な
らではの活躍は見逃せない。昭和五十二年四月十
三日に呱呱の声をあげた婦人警察官特別機動隊、
通称婦警特機も兎のマークと共に今年で満十歳
を迎えた。

の特性である丁寧でやさしいソ
フトな面の活用が必要となり、
機動隊の翼としての婦人警察
画館前で行われた婦人警察官特別
機動隊創設十周年記念警視總
監査閲は、参列した多くの人々
に、信頼と期待を抱かせる名実
共に立派な「機動隊」であった。
昭和四十年代に入つてからの
社会情勢は著しく変化、警察事
象も複雑多様化してきた。集団
警備力の中核としての機動隊も
このような変化に対応する必要
が生じたが、そのような中
で、治安・維持・災害・警護等の
諸警備いずれをとつても、婦人

編成し警戒活動に従事してきた。

発隊までの沿革

婦人警察官が初めて警備出動
したのは、昭和三十九年八月二
十日から十一月七日にかけての
オリエンピック東京大会の代々木
選手村の警戒警備であった。編
成人員は僅か三十三名で、これ
を皮切りに以降は安芸及び稚路
警備の必要に応じて、その都度
力を蓄えてゆく、としている。

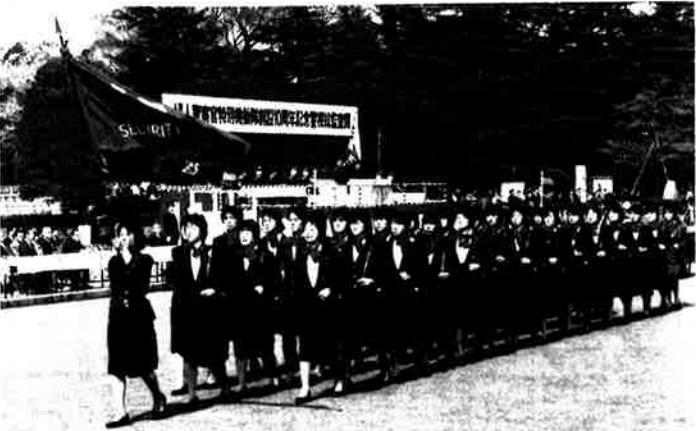
五十二年からこの十年間の主
な警備出動は、五十二年二十
回、五十三年十五回、五十四年
二十四回、五十五年十九回、五
十六年二十五回、五十七年二十
九年十九回、六十年十五回、六
十一年三十四回で、合計二百四十
回、一百人となつた。

位六十年記念式典、第十二回主
要国首脳会議、英國チャーチルズ
皇太子同妃殿下の来日伴う警
衛警護警備では、婦人警察官特
別機動隊の活躍は国内だけでなく
く、外国にまで紹介された。

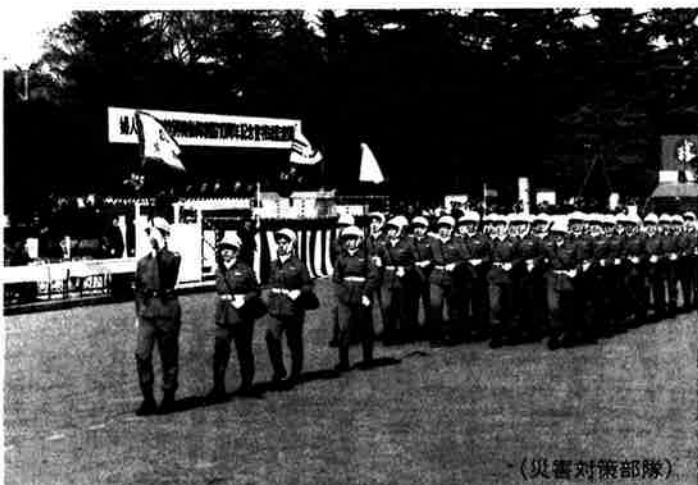
この十年間に婦警特機は多く
の実績を積んで、都民の好評を
博してきたが、さらに精進して
時代の要求に柔軟に対応できる
力を蓄えてゆく、としている。



(制服部隊)

上：避難者の誘導
下：鼓隊のアトラクション

(警護部隊)



(災害対策部隊)



発行所

社団法人 機動隊員等を助ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

昭和四十七年九月、婦人警察
官編成事務の合理化と部隊の効
率的活動を図るため、中隊長以
下百七名からなる婦人警察官警
備隊を編成し、五十年一月、
部隊編成換及び部隊の訓練担当
隊を指定し、警備技術の向上と
警備招集時の部隊運用の効率化
を図った。

昭和五十二年、警備事象の多
様化に対処するため、「警視庁
警官特別機動隊運営要綱」に
基づき、四月十三日に警視庁婦
人警察官特別機動隊を編成、同
年二十六日、大隊長以下二百三
十四名で発隊式を行つた。

第三種郵便物認可

東芝機械がココムの規制に違反して船舶スクリュー製造用の高性能モーターをソニに輸出したこと、日米間の信頼関係を根底より揺るがせている。新聞によると、米国人はこれを裏切り行為として受け取り、近く何らかの強硬制裁措置がとられる情勢である。

対日貿易赤字及び財政赤字の巨大化並びに先端技術の競争等で多少過剰反応主義の日本が、又もやっとした日本バッシングの時代へと見るのは認識不足である。日本間に存在する種々のトラブルの根底には必ず「ペセブションギャップ」がある。特に防衛問題にはこの格差が大きい。

数年前、私はこの欄で「自分たる国は自分で守るという自衛努力をせずして、防衛に回すべし」と金と人と時間と資源を経済発展に向けた経済大国に云々たのは、国際社会連帯を醸成したからであつた。専念する守銭奴の様で世界の敵を招くだけである。自国の防衛の大半を他国に委ね、非常の場合には金は出すが血を流さずして嫌では、国際社会の一員として本当にそんな事が許されるのか」と書いたが、今でもその考え方は変わらない。

日本は、米国の大領の国防支出によつて維持される西側安全保障体制の下で、経済大国にの上つた受益国である、と多くの米国民は信じている。血の出

再び自助努力



木村政次

先日、久しぶりの電話で元気な様子がわかり、安心しました。こちらもみんな元気にやっています。富士山も五月からはすっかり夏の装いに模様替えを緑がまぶしいばかりです。

山梨県大月市

安藤武一

富士山のごとく

国防費に国力に見合った十分な額を支出し、西側同盟の一員としての責務を完全に果している

色んな問題の核心をついた名言である。

で、人間という種類を同じくする生物として生きています。

し合つたある人物の送別会に出
席し、改めて『出会いと別れ』

の機動隊勤務が無事であることを祈つてゐる次第です。

骨身を削る思いで激務に耐えし
のうでいるからこそ、安全な日
本があるのだと私は思ひます。

毎年、此の時期になりますと私共会社関係は異動により、社内外を問わず人の交代があります。そこには、自分の意志とは反する別れや、あるいは、新たに出会いが生まれます。

人生におきましても、友人、両親、配偶者、子供等それぞれが自分自身の成長過程に添つて、生による出会い、入学、入社、結婚による出会いという具合に人それぞれがそうであったよう

小野田

出会いと幸せ

頑張れ機動隊員

岩手県西磐井郡

管原守

東には、大小の山々が連なる奥羽山脈を、西には、雄大な北上川が流れており、その中ほどに位置する花泉は、米どころの町です。

息子の勤めている警視庁第一機動隊は、東京の墨田区に所
する。すると聞いており、時折都内
図を見ては、妻と息子の同

A cartoon illustration of a man wearing a hard hat and safety glasses, holding a large black sphere. He is standing next to a vertical line with a dashed section.

A black and white illustration depicting a scene of destruction. In the foreground, two soldiers wearing helmets and carrying rifles are looking down at a map spread out on the ground between them. They appear to be strategizing or planning their next move. Behind them, a large, multi-story building is shown in ruins, with several windows shattered and black smoke billowing out from the debris. The overall atmosphere is one of a war-torn environment.

警察イラストコンクール作品から

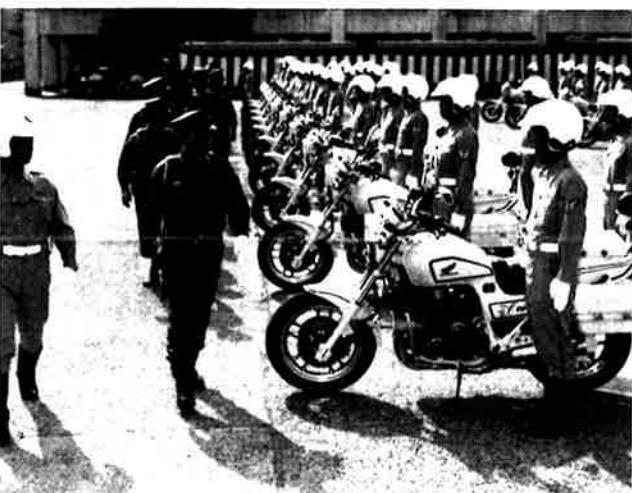
(警視庁一機・
菅原巡查部長の父親)

今月の言葉

機動隊自動二輪部隊

愛称マップで戦列に

はげまし



災害救助にも機動力

毎年九月になると、防災の日を中心として各地で大規模な防災訓練が実施され、国民全体の防災に対する関心が一段と高まる。今年は先ほど発生した養老ホームの火災とか、伊豆大島の大噴火の教訓をとり入れた訓練も行われたと聞いています。

確かに日本は災害が多い。元来が火山列島である上に、台風の通り道もある。また四季があるという事は、それだけ気象変化が激しいことでもある。従って日本は、地理的にも、気象的にみても災害が多いことは覚悟しなければならない。要は災害体制を整え、如何にして被害を最小限に抑止するかであろう。今や人間が月に降り立ち、人工衛

星は宇宙を飛び交い、SDIに取り組もうといふ科学の時代に、経済大国と言われる日本が、自然界的の災害に対してはいさか情け無い感じがしないでもないが……。

天災の主なものは、何と言つても地震と台風であろう。特に地震につ

いては、東海沖地震を除いては予測でもある程度の知識を持ち、幅を狭めて聞くようすればより有効となるのである。

天皇訪冲阻止の不法行為で、天皇陛下は十月二十三日から第四十二回国体秋季大会に出席のため、天皇としては初めて沖縄本島を訪問の予定。また天太子ご夫妻が十一月の全国身障者派遣大綱会議で「天皇陛下までに迎えて開かれる沖縄国体までに徹底検査を展開し、決定的な打撃を与えるよう」指示した。

こうした無法行為が許されるわけがない。国民や世論はいずれも大きく反発している。警察では、警備の根本的な見直しがあった。また五十一年以来六十年にかけて計二十件近いゲリラ事件が発生した。

この事件で共産同幹旗派が火炎びんを投げつけたことがある。これが含めて皇室関係の施設に五六年と九月に八件のゲリラ事件があった。また五十一年から六十年にかけて計二十件近いゲリラ事件が発生した。

これに対し過激名派は沖縄本島を賃く大爆発をからう」と叫んでいた。天皇訪冲阻止を今秋最大の闘争課題として、全国各地でゲリラ活動を繰り広げ、「沖縄一本土を賃く大爆発をからう」と

日本で安心して生活できるのも、これがこそである。防災の日に当たり、はるかに激しく要注意である。台風の勢力は強風と豪雨であり、海岸地方では高潮も要注意である。

日本で安心して生活できるのも、これがこそである。防災の日に当たり、はるかに激しく要注意である。台風の勢力は強風と豪雨であり、海岸地方では高潮も要注意である。

日本で安心して生活できるのも、これがこそである。防災の日に当たり、はるかに激しく要注意である。台風の勢力は強風と豪雨であり、海岸地方では高潮も要注意である。

発行所

社団法人 機動隊員等を助ける会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

警備の機動力向上へ

自動二輪部隊が、警視庁機動隊の新しい戦列に加わった。愛称は「マップ(MAP)」。従来の白バイの車体両側面に二本の青い線が入り、ボディーに同部隊のシンボルマークの「はやぶさ」が描かれた二十台は、警備の機動力向上に大きく寄与していくことが期待されている。

機動性を發揮

同部隊は、第一～第八、それに特科車両隊の合計十機動隊に各二台配置され、隊員は白バイ経験者から選抜された精銳によって構成されている。ゲリラ事件や要人警護などを当たり、四輪車より機敏に、徒歩部隊よりスピードで行動する二輪部隊をと、今年三月から運用が始まつた。去る五月二十六日行われた警視庁機動隊の創設三十九周年を記念する観閲式でお披露目され、注目を集めたものであつた。

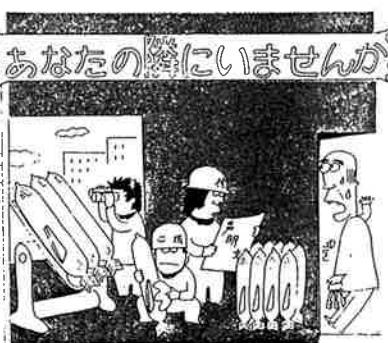
輪車より機敏に、徒歩部隊よりスピードで行動する二輪部隊をと、今年三月から運用が始まつた。去る五月二十六日行われた警視庁機動隊の創設三十九周年を記念する観閲式でお披露目され、注目を集めたものであつた。

隊式を行つた。極左暴力團のゲリラ事犯的確に対処し、もつて皇居、総理官邸その他重要な防護対象の警戒の徹底を期して警衛警護対象者の安全を期すため徒歩部隊と一緒に構成された広域的かつ効率的な警戒活動を実施することを目的としている。

八月に発隊式

警視庁機動隊自動二輪部隊が八月中旬、特科車両隊隊庭で発隊式を行つた。極左暴力團のゲリラ事犯的確に対処し、もつて皇居、総理官邸その他重要な防護対象の警戒の徹底を期して警衛警護対象者の安全を期すため徒歩部隊と一緒に構成された広域的かつ効率的な警戒活動を実施することを目的としている。

テロ・ゲリラ許さない 非常厳戒体制に突入



過激派封じ込めへ

